

三 重 県 歯 科 医 師 会

会 報 事 業

THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん(三重県)



- ◆ 令和7年度歯と口の健康週間
- ◆ いい歯の8020コンクール
- ◆ 令和7年度フッ化物応用研修会
- ◆ 第74回三重県学校歯科衛生大会
- ◆ 第34回臨時代議員会
- ◆ 三重県歯科医師会都市歯科医師会役員連絡協議会



公益社団法人
三重県歯科医師会
<https://www.dental-mie.or.jp/>

2025

1011
No.736

三歯会報 CONTENTS 令和7年 10・11月号

令和7年度歯と口の健康週間 三重県審査の結果	
よい歯の児童生徒の審査並びに表彰	1
歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール	2
いい歯の8020コンクール表彰	5
令和7年度フッ化物応用研修会	6
第74回三重県学校歯科衛生大会	10
第2回郡市会長会議	
(令和8年度の三重県歯科保健大会は四日市市で開催)	16
第34回臨時代議員会	
(山本議長、西村副議長を選出)	20
第7回理事会	
(令和8年度県行政等に関する要望事項)	22
第8回理事会	
(三重県歯科医師会公式Instagramの開設)	24
三重県歯科医師会都市歯科医師会役員連絡協議会	26
8月・9月会務日誌	31
会員消息／新入会員プロフィール	32
告知板	
(・愛知学院大学歯学部同窓会ポストグラデュエートコース(PGC))	34
(・福祉医療費助成に関するお知らせ)	35
会員の広場	
(・第47回三重県歯科医師会ゴルフ大会開催)	36
(・野球部活動報告)	37
互助会の現況	38
国保組合の現況	39
編集後記	40

令和7年度 歯と口の健康週間

三重県審査の結果

よい歯の児童生徒の審査並びに表彰

最優秀	井上世利加	名張市立錦生赤目小学校	伊賀
優秀	加藤 紗	桑名市立伊曾島小学校	桑員
"	渡邊芽依那	四日市市立県小学校	四日市
"	小林 柑菜	鈴鹿市立庄野小学校	鈴鹿
"	松野 朱里	亀山市立川崎小学校	亀山
"	平野 希宙	津市立一身田小学校	津
"	尾崎 奏帆	明和町立大淀小学校	松阪地区
"	北村維乃香	伊勢市立有緝小学校	伊勢地区
"	古崎いろは	志摩市立磯部小学校	鳥羽志摩
"	森下 晴仁	尾鷲市立尾鷲小学校	尾鷲
"	中村百合花	熊野市立金山小学校	南紀



よい歯の児童生徒の審査並びに表彰：審査委員

三重県医療保健部健康推進課主査	奥野ゆたか
三重県教育委員会事務局保健体育課主幹兼係長	太田 修三
三重県歯科医師会副会長	福森 哲也
三重県歯科医師会常務理事	伊東 学
三重県歯科医師会理事	新 達也
三重県歯科医師会理事	大元 秀一
三重県歯科医師会理事	田中 一生
三重県歯科医師会公衆衛生委員	小川 周輔、内藤 淳、鈴木 智子、 岡 知道、美濃 明希、西川 徹、 田所 晋、中井 一尊、松本 卓也

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

[幼児]

最優秀 清水 颯人 学校法人桔梗が丘学園梅が丘幼稚園 5歳 伊賀



2位	石野 友暉	亀山市立井田川幼稚園	5歳	亀山
〃	堀田 紗代	松阪市立山室幼稚園	5歳	松阪地区
3位	山下 晴士	社会福祉法人愛育会愛華こども園	6歳	四日市
〃	藤原 美紅	津市立のむら幼稚園	5歳	津
佳作	加藤 玲那	木曽岬町立木曽岬こども園	5歳	桑員
〃	森川 花穂	学校法人和順幼稚園	6歳	伊勢地区

[小学校低学年]

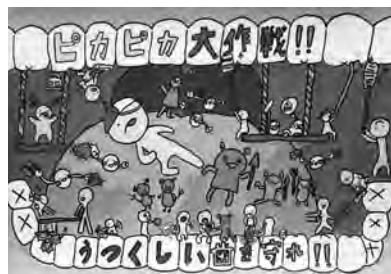
最優秀 川北 希実 伊賀市立成和西小学校 1年 伊賀



2位	大平 千翔	亀山市立神辺小学校	3年	亀山
〃	二ノ宮麻由	玉城町立外城田小学校	2年	伊勢地区
〃	森田 陽	熊野市立井戸小学校	2年	南紀
3位	花井 克優	桑名市立立教小学校	2年	桑員
〃	後藤 瑛太	鈴鹿市立井田川小学校	2年	鈴鹿
〃	上村 理葉	志摩市立東海小学校	2年	鳥羽志摩
佳作	佐田富咲絵	四日市市立大谷台小学校	3年	四日市
〃	大槻 桃夏	津市立黒田小学校	3年	津
〃	中林やよい	松阪市立宮前小学校	2年	松阪地区
〃	鈴木來羽空	紀北町立西小学校	1年	尾鷲

[小学校高学年]

最優秀 佐田富史帆 四日市市立大谷台小学校 6年 四日市



2位	加藤 廉	亀山市立関小学校	6年	亀山
〃	細川 花火	熊野市立五郷小学校	5年	南紀
3位	安井 美華	津市立栗葉小学校	4年	津
〃	宮本 純羽	伊勢市立豊浜西小学校	6年	伊勢地区
〃	川口真結乃	紀北町立相賀小学校	4年	尾鷲
佳作	石川なつき	桑名市立多度青葉小学校	5年	桑員
〃	橋本 優心	鈴鹿市立長太小学校	4年	鈴鹿
〃	中東 奏	松阪市立大河内小学校	4年	松阪地区
〃	日山 葵	志摩市立鵜方小学校	6年	鳥羽志摩
〃	東山 優芽	伊賀市立上野北小学校	4年	伊賀

[中学校]

最優秀 下部 志月 紀北町立潮南中学校 3年 尾 鶩



2位	福嶋 凜	四日市市立南中学校	3年	四日市
〃	服部 心美	亀山市立亀山中学校	3年	亀 山
3位	堀 心愛	津市立久居西中学校	2年	津
〃	小倉 優月	伊勢市立伊勢宮川中学校	3年	伊勢地区
〃	寺本姫玖璃	紀宝町立矢渕中学校	3年	南 紀
佳作	生川 結梨	木曽岬町立木曽岬中学校	3年	桑 員
〃	須藤 彩華	鈴鹿市立白子中学校	2年	鈴 鹿
〃	鈴木 愛未	松阪市立大江中学校	2年	松阪地区

[特別支援学級・学校]

最優秀 石橋 央都 紀北町立船津小学校 5年 尾 鶩



2位	三村 彩純	鈴鹿市立若松小学校	2年	鈴 鹿
〃	中島 仁菜	名張市立桔梗が丘東小学校	2年	伊 賀
3位	加藤海琥斗	四日市市立八郷小学校	6年	四日市
〃	坂 心凪	亀山市立関中学校	2年	亀 山
佳作	梅村 碧	桑名市立城東小学校	2年	桑 員
〃	山口 由結	津市立芸濃中学校	2年	津

[高等学校]

2位 大久保心花 鈴鹿中等教育学校 4年 県教委

審査講評

三重県美術教育研究会会長（松阪市立大河内小学校校長）・宮村嘉奈

子どもたちの歯・口の健康に対する意識の向上を図るため、毎年開催されている本コンクールに県内各地から計4,527点の応募がありました。各部門の内訳は、幼児の部（49園、799点）、小学校低学年の部（110校、1,905点）、小学校高学年の部（67校、1,435点）、中学校の部（24校、293点）、特別支援学級・学校の部（33校、93点）、高等学校の部（1校、2点）でした。今年度は高校生からの応募もあ

りました。

8月28日（木）、三重県歯科医師会館において、第1次・第2次審査を経て選出された46点の作品を対象とした最終審査が行われました。いずれの作品も、歯・口の健康の大切さを視覚的にわかりやすく伝える工夫が随所に見られ、非常に印象的でした。明るく親しみやすい色使いや、キャラクターの配置により、子どもから大人まで幅広い層

にメッセージが届く構成となっていました。そんな力作揃いの中、各部門から計5点を最優秀賞に慎重に選出いたしました。

幼児の部では、元気いっぱいに大きく口を開けた表情が印象的で、歯の健康を楽しく前向きに伝える作品ばかりでした。最優秀賞の清水颯人さんの作品は、背景に描かれたキラキラ輝く星々に、歯みがきをがんばることで得られる「ピカピカの笑顔」や「輝く未来」を象徴しているようでした。

小学校の部は、明るい色使いや、表情の細やかな描写も素晴らしいです。低学年の部最優秀賞の川北希実さんの作品は、三姉妹が歯みがきをしている様子が微笑ましく、3人が同じ動作をしているのにそれぞれの個性を感じられ、「歯みがきは毎日の楽しい習慣」というメッセージが自然と伝わってきました。高学年の部最優秀賞の佐田富史帆さんの作品は、「ピカピカ大作戦」という印象的なメッセージと、にぎやかでエネルギーッシュな構成は、見る人の目を引き、高学年らしいユーモアと発想力が見事

に表現されていました。

中学校の部は、多様な発想と高い表現力を備えた作品揃いでした。最優秀賞の下部志月さんの作品は、作品全体に前向きなエネルギーがあふっていました。色彩も豊かで、視覚的なインパクトが強く、ポスターとしての完成度が非常に高いと感じました。

特別支援学級・学校の部で最優秀賞の石橋央都さんの作品は、ステンシルの技法を巧みに活用し、技法の魅力と個性が融合した、心に残る1枚でした。

高校生の部の大久保心花さんの作品は、繊細で丁寧な筆致が印象的で、未来をイメージした作者が、伝えたい思いをしっかりと込めた素晴らしい作品でした。

三重県下の子どもたちがこうした創造力を大切にしながら、歯・口の健康について関心をもち、その子ならではの発想や意図をもって表現することを通じて、歯・口の健全育成を目指す本運動がより一層広がることを願い、審査講評といたします。

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査委員

三重県美術教育研究会会長（松阪市立大河内小学校校長）
三重県美術教育研究会副会長（津市立久居西中学校教諭）
三重県教育委員会事務局保健体育課主幹兼係長
三重県歯科医師会常務理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事

宮村 嘉奈
三輪 辰男
太田 修三
伊東 学
新 達也
大元 秀一
田中 一生



いい歯の8020コンクール表彰



歯科保健大会で表彰式が行われる。

9月25日(木)、「いい歯の8020コンクール」審査委員会が開かれた。今年は1,232名の応募者があり(昨年度は1,320名)、厳正な審査の結果、三重県知事表彰・5名、中日新聞社表彰・11名、三重県歯科医師会会长表彰・優秀賞11名に加え、三重テレビ放送表彰に津市在住の岸田博喜・京子さん夫妻、またFM三重表彰に津市在住の渡邊建次さんが選ばれた。11月16日(日)午後1時より三重県文化会館ホールにて開催の第30回三重県

三重県知事表彰受賞者

原田 妙子	(鈴鹿市)	94歳	岡田 欽伍	(松阪市)	95歳
松岡キミ子	(伊賀市)	98歳	森本 寛	(松阪市)	93歳
太田 糸子	(津市)	98歳			

中日新聞社表彰受賞者

永井 敏溥	(鈴鹿市)	88歳	佐々 のぶ	(松阪市)	97歳
鳩岡 策	(伊賀市)	96歳	山本 良樹	(松阪市)	90歳
和島 静	(名張市)	97歳	山本 久子	(志摩市)	87歳
柴原恵美子	(伊勢市)	92歳	河田 昭子	(伊賀市)	81歳
尾関 紀嗣	(四日市市)	91歳	岩脇 ふさ	(名張市)	89歳
三谷 明義	(伊勢市)	87歳			

三重県歯科医師会会长表彰(優秀賞)受賞者

北浦 圭子	(伊賀市)	81歳	三谷みさを	(鈴鹿市)	101歳
伊藤 英生	(四日市市)	90歳	平山 氣平	(尾鷲市)	85歳
長谷川すづ子	(津市)	87歳	中森 克成	(尾鷲市)	84歳
伊藤 正	(鳥羽市)	97歳	古尾 信次	(伊勢市)	82歳
渡邊 孝明	(桑名市)	86歳	廣川 靖彦	(松阪市)	83歳
龍 昭弘	(亀山市)	80歳			

三重テレビ放送表彰受賞者

岸田 博喜	(津市)	85歳	岸田 京子	(津市)	80歳
-------	------	-----	-------	------	-----

FM三重表彰受賞者

渡邊 建次	(津市)	80歳
-------	------	-----

令和7年度フッ化物応用研修会

令和7年7月24日（木）

三重県歯科医師会館（ハイブリッド形式）

7月24日（木）、令和7年度フッ化物応用研修会が開催され、歯科医師63名、歯科衛生士16名、保育・教育関係者24名、行政関係者29名、その他2名の計134名（来場68名、Web66名）が参加した。今回は「子どもたちの健康格差を減らすために：健康日本21（第三次）から考える」と題して、昨年度に引き続き東京科学大学大学院医歯学総合研究科歯科公衆衛生学分野の相田潤教授が講演。コロナ禍から広がった経済格差により貧困率が増加し、それに伴い口腔の健康格差（う蝕の格差）に影響が出ていることを示し、健康格差は環境因子の影響が大きく、自己責任で解決が困難であることを強調された。そしてフッ化物応用が健康格差を減らすための公的衛生手段として非常に有効性が高いことを最新の研究データを提示して詳述された。

(公衆衛生委員・中井一尊 記)

子どもたちの健康格差を減らすために： 健康日本21（第三次）から考える

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野・相田潤教授



■ 健康日本21で重視されるもの

令和6年より健康日本21第三次がスタートした。その中で「健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し健康づくりを進める」と示されている。それを実践するために個人の行動変容を促すことが中心の時期もあったが、現在は社会環境の質を向上させることが重要視されてきている。社会環境の質の問題は例として▽職業によって歯周病保有率が高い▽低所得者ほど歯科受診率が低い▽教育歴の短い高齢者ほ

ど現在歯数が少ないなどが挙げられる。（図1）

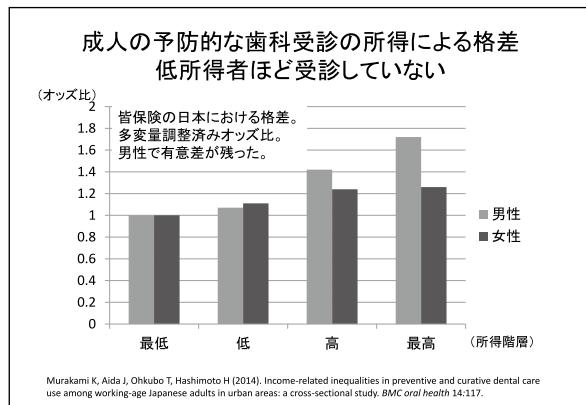


図1

このように健康は社会的環境要因が影響するため健康格差を自己責任で解決することは困難である場合が多い。

■ コロナ禍の苦境

健康格差の背景には子どもの貧困問題を抱えている。現在日本では7人に1人が就学援助を受ける貧困の生徒であり、ひとり親世帯では約45%が

貧困世帯である。そしてコロナ禍でひとり親世帯の小学生の11%が体重減少したというデータもある。このような環境の中で歯ブラシの定期的な交換や歯科の定期健診なども困難になっていたと推測される。つまり健康に対する知識があっても社会環境により行動が変えられないということが起こっていたと考えられる。そのため健康日本21（第三次）では社会環境の整備が重要視されるように変革された。

■ 変わる歯科疾患の常識

「世界の疾病負担研究2010」によれば有病率ランキングにおいて全291疾病中、永久歯の未処置う蝕が1位、6位に歯周病、10位に未処置乳歯があり、国際的にも減少していると考えられていた歯科疾患は現実には減少していないことがわかった。

「WHO口腔保健レポート2022」においても主な非感染性疾患の世界の推定有病者数が示されている。口腔疾患が34億7,400万人、精神疾患が9億6,700万人、循環器疾患が5億2,200万人、糖尿病が4億5,800万人、慢性呼吸器疾患4億5,300万人、がん8,600万人と口腔疾患が最も多い。

日本においても子どものう蝕は減ったというイメージが強いが、小学生の主な疾病的被患率は近视に並びう蝕が最も多い。（図2）

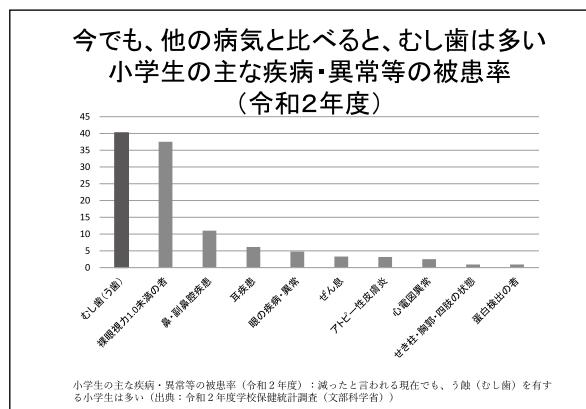


図2

その結果、14歳以下における歯科疾患の医療費は呼吸器疾患につき2番目に多い数値となっている。また日本人の5歳以上のすべての年代においても未処置う蝕は約3割の人が保有しており、0歳から64歳までの日本全体の医療費でみても歯科疾患が最も多い。（図3）

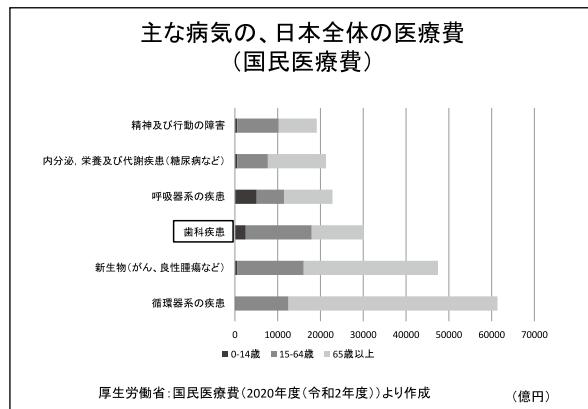


図3

そのため学校保健や産業保健の中で歯科疾患の対策をする意味は非常に大きい。

■ この10年間で見直された口腔疾患の重要性

口腔の健康と全身の健康は密接な関係にあり、口腔の健康状態が悪化すると身体的影響として噛めないという問題が起こり低栄養に繋がる。また口腔清掃不良などにより誤嚥性肺炎を引き起こすこともある。そして審美的な見た目の問題・会話がしにくいなどの不具合から社会参加の減少が起こり、そのことにより全身の健康への悪影響へと繋がってゆく。

実際に入れ歯の清掃を毎日しない高齢者では過去1年間の肺炎リスクが、毎日清掃する高齢者と比較し1.3倍高かった。（図4）

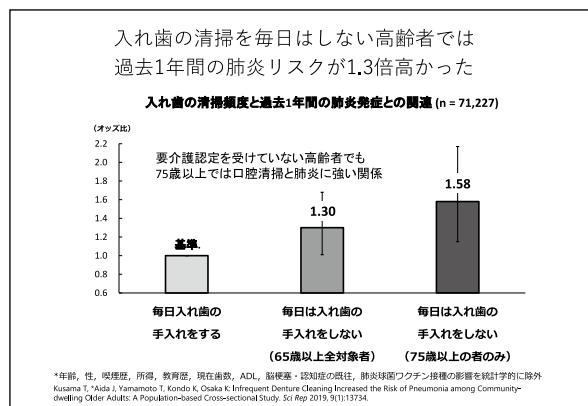


図4

また歯の喪失による体重減少が高齢者の死亡リスクにつながっていることもわかっているが、特に男性においては死亡への関与の大きさが、1位の「年齢」につき「無歯顎」が2位となっている。

これらのことから全身の健康のためには口腔疾

患の予防も重要であることがわかる。

■ 日本で不足しているフッ化物応用

日本は諸外国と比較し砂糖消費量は少ないが、う蝕が多い傾向にある。また子どものう蝕の80%以上が歯ブラシの届かない臼歯の裂溝からできており、歯みがきは重要だがそれだけではう蝕予防としては充分ではない。

Canadian task force 報告によると、歯ブラシやフロスによる日々のプラークコントロールは、フッ化物配合歯磨剤を利用するためう蝕予防において重要であり歯肉炎予防にも寄与するが、歯ブラシだけではう蝕予防としての根拠は乏しいとされている。これは歯ブラシのみでは解剖学的に届かない臼歯の裂溝や隣接面があるためと考えられる。(図5)

Canadian task force 報告		
予防方法	根拠のレベル	推薦度
フロリデーション	II-1	A
フッ化物錠剤(水道水のフッ化物濃度が適正値に満たない場合のみ)	II-1	A
専門家によるフッ化物塗布	I	A
フッ化物配合歯磨剤	I	A
歯ブラシ・フロスによる日々の歯垢除去	う蝕と歯みがき: III う蝕とフロス: II-1	う蝕予防の根拠は乏しい(C)。しかし、フッ化物配合歯磨剤(A)を利用するために歯みがきは重要だし、歯肉炎も予防(B)する。
シーラント(専門家による小窓裂溝の予防填塞)	I	A
健康教育(う蝕誘発性の食物を減らすことや、乳児が水以外の飲み物を入れた哺乳瓶をおしゃぶりとして夜間や長時間利用するのを減らす)	II-2	集団に対して、食生活の変容の根拠は乏しい(C)。しかし、リスクの高い個人に対して行ったり、乳児の哺乳瓶う蝕の予防のために行なうことは、臨床的には賛成である。

図5

実際に小学校での歯みがき効果の研究において、歯みがき実施校は実施していない学校とくらべ前歯部のう蝕は減ったが、臼歯部のう蝕には変化がなかった。しかしフッ化物洗口をすると前歯部・臼歯部ともにう蝕が減少するという結果になった。

世界保健機関(WHO)と国際歯科連盟(FDI)の合同チームのレポートでは、日本では砂糖摂取量が少ないとわからず、う蝕が多い原因はフッ化物応用が少ないと結論づけられている。

■ フッ化物応用の安全性

塩化水素(HCl)は劇物であるが塩化ナトリウム(NaCl)は調味料である。同様にフッ化水素(HF)は毒物であるがフッ化ナトリウム(NaF)

はう蝕予防に使用される。このようにこれらはまったくの別物であるためイメージを混同しないようする必要がある。

フッ化物応用の歴史は長くアメリカでは1945年(昭和20年)から水道水フロリデーションが実施されており有効性と安全性を示している。

また令和7年の口腔衛生学会誌でもホームケアやコミュニティケアによる日常的なフッ化物摂取量は各年齢において摂取許容量を下回っており安全であると報告されている。

■ 健康格差への対策 社会的決定要因を考える

学齢期においてう蝕は二極化しているといわれている。そのため一部のハイリスクの子どもにのみフッ化物洗口を行えば良いのではないかという意見があるが実際はそうではない。

ある小学校のデータでは学校歯科検診時の1人当たりのう蝕罹患歯数とその1年後の検診時のう蝕罹患歯数を比較した場合、もともと0本の子は1年後に0.26本増えており、1本だった子は0.45本、2本だった子は0.57本、3本以上だった子は0.50本増えている。しかし全生徒のう蝕罹患歯数の合計でみると、最初の時点でう蝕罹患歯数が0本の子からは全体で300.0本のう蝕が発生しており、1本の子からは77.5本、2本の子からは68.4本、3本以上の子からは56.5本と、もともと0本であった子からの発生合計が最も多い結果となつた。以上のことからハイリスクの子どもへの対策のみではなく、全員に対策する必要が認められ、これにより健康格差を減らす配慮ある普遍的アプローチが可能となる。

■ 日本におけるフッ化物洗口

日本では平成15年に厚労省からフッ化物洗口ガイドラインが発表されており、令和4年には改訂版のマニュアルが出されている。

新潟県の小学校でのフッ化物洗口のデータによると、小学校6年生時点でのフッ化物洗口を短期間実施したグループは、実施したことのないグループと比較しDMFT指数が19%減少、さらに1年

生から継続実施しているグループでは 42% 減少したデータがある。また、中学 1 年生においてフッ化物洗口の実施群と非実施群を比較した際、非実施群では DMFT 指数が 10 以上の生徒もいたが、実施群では 5 以上の生徒がいない結果となった。これはポピュレーションアプローチがハイリスク者に、より大きな恩恵があることを示しており健康格差のはたらきに寄与していると思われる。

最初に示したように健康日本 21（第三次）では自然に健康になれる環境づくりと健康格差のはたらきが重視されており、昔は個人個人が知識をつけ努力し健康になろうという考え方方が主流であったが、それでは取り残される人が出てしまうため、社会環境の質の向上が強調されるようになった。

■ ライフコース疫学

ライフコース疫学とは子どもの頃の行動や健康が生涯を通じどのように影響してくるのかを検証する学問である。

実際にニュージーランドの研究によると 5 歳時点でプラークが多い子どもは 32 歳時点でもプラークが多く、逆にプラークが少なかった子どもは 32 歳時点でも少ないままという結果になっている。また、幼少期に虐待を受けていた高齢者は歯が少ない傾向にあるというデータもある。

日本においては 1970 年代に新潟県の弥彦村で初めて集団のフッ化物洗口が実施されたが、50 年後の口腔状態（1 人当たりのむし歯本数）がどうなったかを厚労省が調査した。それによると小・中学校在学時に計 9 年間フッ化物洗口を経験した人（調査時 47～55 歳）は 11.17 本、経験なしの同年代の人が 13.74 本で、経験したグループの方が 2.57 本少ない結果となった。また昭和 53 年には保育園でもフッ化物洗口が始まっており、同様の調査で保育園から中学校までの 11 年間に期間を広げると（調査時 36～46 歳）、経験ありが 6.8 本、経験なしが 10.42 本とより差が出る結果となった。

そして昭和 63 年にはフッ化物洗口に加えシーラントも行うようになり、同様の調査で保育園から中学校までの 11 年間で（調査時 30～35 歳）、経験ありが 3.35 本、経験なしが 8.9 本とさらに差が出る結果となった。（図 6）

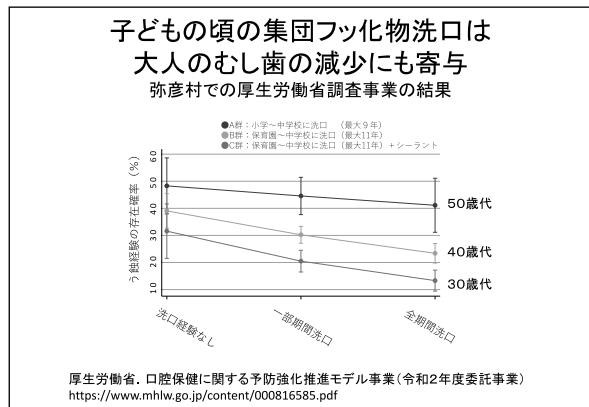


図 6

■ 誰一人取り残さない自然に健康になれる環境づくりとして推奨されるフッ化物洗口

令和 4 年度時点で学齢期におけるフッ化物洗口に関する事業を実施している市町村の割合は 54.0% であるが、厚労省よりそれを 60% にするという目標値が設定されている。また令和 4 年にはフッ化物洗口の推進の考え方とマニュアルが出されている。現在、物価高やひとり親世帯で経済的に苦しい方が増えているが、むし歯予防を「家庭の責任」だけにせずに、誰一人取り残さないためにも、我々にはフッ化物洗口を全国的に推進させる責任がある。



第74回三重県学校歯科衛生大会

令和7年8月28日（木）

三重県歯科医師会館

8月28日（木）、第74回三重県学校歯科衛生大会が開催された。三重県学校歯科衛生大会は三重県教育委員会と三重県歯科医師会が養護教諭や学校歯科医などを対象とし、学校歯科保健について研鑽を積むことを目的としたもので、教育関係者20名、歯科医師32名、歯科衛生士10名など計62名が聴講した。今回は公益社団法人日本学校歯科医会学校歯科医生涯研修制度運営委員長の柴田 宏先生が「学校歯科保健、最近の動向と実際」と題して講演。前半は学校歯科医の役割、重要性について述べ、学校歯科保健概論、保健教育、健康管理、組織活動について詳述された。後半は講師自身の中学校での取り組みについて実践例を交え紹介され、外部講師としての授業参加や個別指導などを挙げられ大変興味深い内容となった。

(公衆衛生委員・小川周輔 記)

学校歯科保健、最近の動向と実際

公益社団法人日本学校歯科医会学校歯科医生涯研修制度運営委員長・柴田 宏先生



握しておくことが重要である。

■ 学校歯科保健の重要性

人生の生涯にわたる健康づくりは、乳幼児期のように自らの健康がおおむね保護者の手に委ねられ管理されている「他律的健康づくり」の時期から、成人期以降の自らの知識・技術そして思考・判断による意思決定や行動選択による「自律的な健康づくり」へと移行していくなければならない。

その大切な転換期が学齢期である。（図1）

■ 学校とは、何か!?

学校は、教育の場であり、医療行為の持ち込みは不可である。医療行為に関しては、以前に検診中の抜歯などで問題となつたことがある。

学校は、校長がすべての責任者であり、計画的・組織的に運営を行っている。健康診断や学校歯科検診の日程は原則前年度に役割などを確定する。新規の取組みは前年度の計画段階から提案・調整する必要がある。

また、学校は地域社会・自然環境の上に成り立ち、担当校の規模・背景・文化的文脈を最初に把

学校保健の重要性

他律的健康管理から自律的健康管理へ

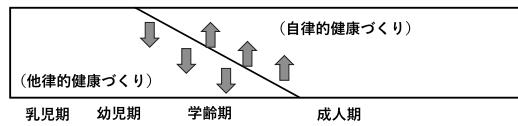


図1
歯科保健も含めて、学校での健康づくりの在り

方が、一生の健康づくりの方向や質を決定するといつても過言ではない。一度誤った健康習慣が身につくと、それを是正することがどれほど困難かということは、多くの国民が実証しており、行動変容を促すには、自己健康管理能力を育成することが最も重要で、それは学齢期が適切である。

習慣が大切であることに関連して、歯垢清掃状態を経年的に追ったニュージーランドの研究について説明する。学齢期に口腔清掃状態が悪い子は年を重ねるごとに悪くなっていく。口腔清掃状態がいい子はさらに良くなっている、そこそこのグループはそこそこの状態である。つまり若いころ身についた生活習慣は長く続くということが言える。いかに学齢期により生活習慣を身に付けないといけないか、成人になってからでは難しいということが分かる。(図2)

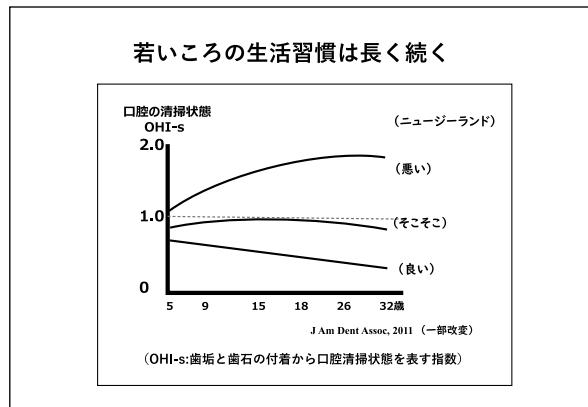


図2

■ 学校歯科保健活動の領域と構造

学校歯科医の職務は①歯科保健教育②歯科保健管理③組織活動（学校保健委員会、PTA・地域連携、校内組織への助言など）である。歯科保健教育と歯科保健管理をうまく進めるために、組織活動がある。いずれも学校歯科医の仕事で、検診だけが学校歯科医の仕事ではない。学校では学校歯科医として活動し、嘱託的な非常勤職員の立場である。

学校歯科医は歯科医師法における歯科医師、学校保健安全法における学校歯科医と2つの身分を持つ。保健体育審議会答申（平成9年）の中に、教育活動への積極参加が求められており、また、平

成20年中央教育審議会答申の中に、専門知識に基づく保健指導は将来にわたり有意義なものになるとある。また最近、児童虐待防止法（平成29年改正）で歯科医師の責務が明記された。学校検診はすべての児童生徒を観察できる特性を持つ。未処置歯多数や前年度からの未改善など総合的兆候を把握し、所見欄で適切に校内共有するなど、早期発見と支援の導線を整える（例：岡山県では所見欄にレ（要対応）にチェックして、健康診断結果のお知らせには転記しない。）。（図3）

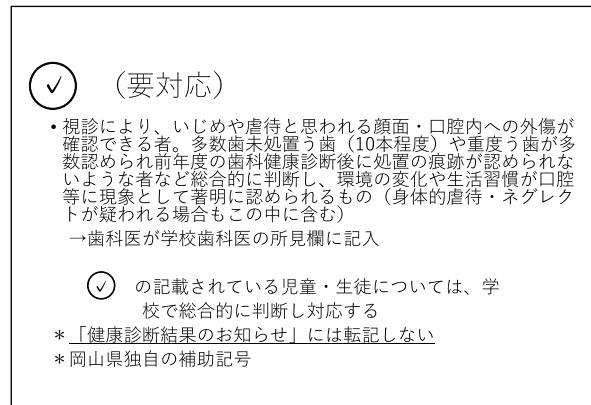


図3

かつて学校歯科医の主務は「疾病重視の保健管理」とみなされがちだったが、現在は健康づくりが基本であり、生涯を通じて「生きる力」を育む保健教育が主体である。給食・部活動・歯の外傷・学校保健委員会など校内横断で取り組み、非常勤職員として養護教諭・管理職・担任と日常的に意思疎通を図る心構えが大切である。

■ 学校歯科保健教育における最近の動向

① 新しい学習指導要領

平成29、30、31年改訂の学習指導要領では、今までのように「何を学ぶか（学習内容）」のみを示すのではなく、「どのように学ぶか（学習方法）」と「何ができるようになるか（資質・能力）」が示された。育成すべき3つの柱として「知識技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」と説明されている。そしてこれらを実現させるための授業改善として「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」や「教科横断的（カリキュラムマネジメント）」な手法が求められている。（図4）

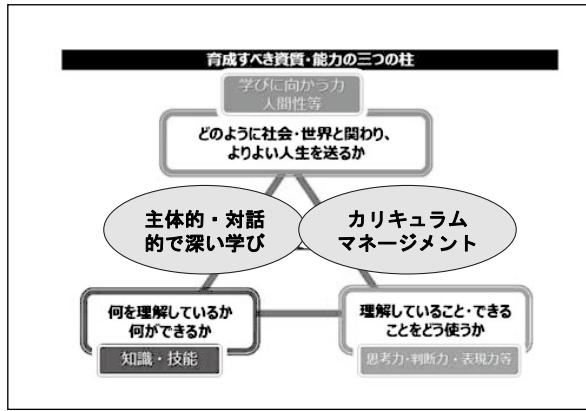


図 4

歯科保健教育はどの子どもにも共通したテーマで問題発見・解決の学習に適しているといわれ、主体的・対話的で深い学びの授業展開にも適している。また歯・口の問題は食育、栄養の分野にも広がりを持ち、保健・体育だけでなく、特別活動や総合的な学習の時間、理科や家庭科など教科横断的なテーマとして取り扱うのに適している。学校での健康教育の題材として積極的に利用してほしいものである。

さらに大きな前進として、中学校学習指導要領に「歯周病」が初めて明記され、中学校的教科書に歯周病の図と学習が掲載された。これにより、中学校段階でも系統的に歯・口の健康を扱えるようになった。(図 5)

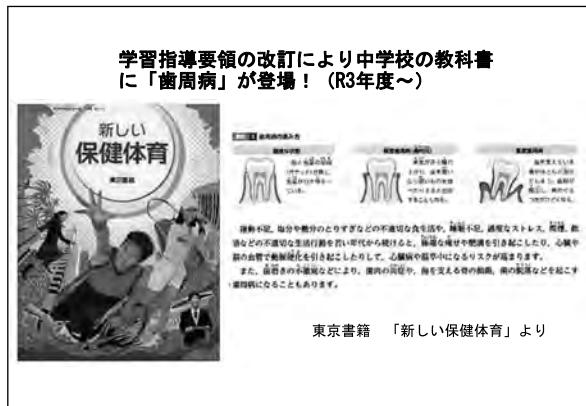


図 5

② ICT 教育

文科省が進めてきた GIGA スクール構想とは「1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現す

ること」であり、1人1台端末については“令和の学びのスタンダード、鉛筆やノートと並ぶマストアイテム”といっている。現在は小学校から高等学校まですべての学校で1人1台パソコンやタブレットが行き渡った。

GIGA スクール構想により目指すべき次世代の学校・教育現場の姿として△個別最適な学び△協同的な学び△教育データの利活用による効果的な学びの支援△校務の効率化－の4点が示されており、学校保健教育においても学校歯科医、養護教諭はこれらの教育全体の方向性のなかで、その専門性をより発揮するための ICT 活用が重要となる。歯・口の健康づくりは、健康づくりに関する多くの題材のなかで生活習慣病の学習材（教材）として適しており、目で見える題材であり、すべての子どもに共通した話題性に富んでいるので、ICT を活用した保健教育の方法もいろいろな可能性がみえてくる。

活用事例の中では歯みがき指導の際、タブレット端末で児童が自ら歯肉の状態を撮影し、指導の前後で比較したり、経時的に歯肉の状態を撮影・保存し歯肉の状態の経過観察することで児童の主体的な健康管理に繋げたりしている。また、生活習慣と歯肉の状態のアンケートを行って、アンケート結果をレーダーチャートで視覚化し、生活習慣の改善につなげるなどもある。(図 6)



図 6

タブレットを使用することで児童生徒もデータを保存し、振り返りもできるので課題解決に向けての意識の向上も期待できる。また他の学校とオンラインでつなぎ、他校の活動の様子を見たり、意

見交換を行うことで、児童生徒の意欲の向上を図っている例もある。

ICTを活用した歯科保健教育はまだ始まったばかりであるが、学校歯科医の専門的な助言や参加も取り入れながらタブレットを有効に使用することで視覚的な情報として理解しやすく、子どもたちが歯・口の健康の大切さをより実感できるものと期待できる。日学歯の「むし歯シミュレーター」やPowerPoint教材・理解度テストなど、使える資材も多くあるのでぜひ有効利用していただきたい。

③歯・口の安全教育（危険予測学習）

歯・口の傷害・障害を含む子どもの事故やけがは、子ども自身の主体の要因と自分以外の環境の要因がかかわり合って起こる。身近な事故の事例や場面設定を通してどのような危険があるか気づかせ、その危険は「どのようにしたら除くことができるか」考えさせることによって、危険予測・危険回避能力を身につけさせようとする学習方法である。

■歯科保健教室の実際

学校歯科医の保健教育の役割として養護教諭への教材・資料提供や助言、外部講師としての授業参加がある。積極的な教育参加が望まれるが、授業の主導（指導案作成・進行）は担任であるため、学校歯科医が担当するパートを事前に十分打合せする必要がある。授業の流れとしては「導入→展開→まとめ」の順番で構成するとわかりやすい。内容はむし歯・歯肉炎に限らず、咀嚼の大切さ・食育・動物の歯・スポーツと歯など多岐にわたる。

たとえば乳歯から永久歯への生え替わりをテーマに行う場合、導入・展開ではスライドを利用し、まとめは担任が担当する。展開では染め出し＋ワークシートで磨き残しを赤でスケッチし、学校歯科医と担任が巡回の個別指導を行うと効果的である。

幼稚園・低学年ではクイズで全員参加できる雰囲気づくりが重要である。参観日では家庭の歯みがき習慣・おやつの取り方について保護者への働きかけも効果的である。

中～高学年・中高では、授業後に感想や努力目標を書かせ、次年度への振り返りに活かすことが大切である。養護教諭が感想を冊子化すると継続的な改善につながる。

また、ライオンの全国歯みがき大会などを活用し、当日は学校歯科医のワンポイント解説や実技指導などを行うことで、学校との連携が深まり、子どもとの距離も縮まる。

■年々増加する学校・園でのフッ化物洗口

平成30年度において学校の集団のフッ化物洗口の実施は全国で、14,359施設（実施率19.0%）1,573,535人（実施率13.2%）と報告されている。

学校でのフッ化物洗口は公衆衛生的で保健管理的な取組みと思われがちだが、子どもたちがフッ化物の重要性について教育し、子どもたちが主体的に取り組むように指導していくことは大切である。これにより子どもたちの自律的な健康づくりにつながり、保健教育的な要素も大きいと考える。自分の歯の大切さを考え、むし歯に負けない強い歯を作ろうと思い、そのためにフッ化物を積極的に利用しようと考え実行することは、健康に関する知識を理解し、主体的に考え、判断し、行動するというまさに「生きる力」を身につける過程である。実際にフッ化物洗口を通して歯科保健教育を行っている学校も多く、学校でのフッ化物洗口が20%に近くなった現状を考えると、フッ化物の利用について学習指導要領にも明記されることが望ましい。

■保健教育の取組み

大人になって生活習慣を改善するのは難しいため、治療＝元に戻るではなく、むし歯は歯科医院で治療し詰め物をしても“治った”わけではなく再建であることを理解してもらう。天然歯に勝るものではなく、むし歯にならないことが最重要である。日々のセルフケア＋定期管理で、80代でも20代のような健康な口腔は実現可能であることを伝えている。

平成元年開始の8020運動は、当初達成が7%で

あったが現在は達成率50%超となった。予防意識やフッ化物利用の普及で残存歯数は着実に増加している。ただし学校教育では、「80歳で20本」より「生涯28（全歯を守る）」を目標に。日本口腔衛生学会の提言もあり、子どもには「生涯28」を伝えるのが望ましいと考える。ライフコースの視点でも、胎児期～青年期の習慣が高齢期の歯の健康に関係していることを学校歯科医は認識しておかなければならぬ。

■ 中学校での継続的取組み

在校生1,000名超の大規模校では、講話をスタジオから各教室へリモート配信を行い、保健委員がPowerPoint作成・アンケート集計・表彰までを担当する。（図7）



図7

主体性と達成感を実感してもらうため自己評価アンケート（歯ぐきの腫れ・色・出血など）をレーダーチャート化し、生活行動とクロス集計を行っている。例年、2年生を対象に行っているが、集計の結果、就寝前の歯みがきなどで有意な差が毎年確認される。

講演内容として歯周病は乳歯の脱落と違い、歯周病は根ごと脱落しうる病気であることを伝え、骨（歯槽骨）が溶けること、 PLAQUE は食べかすではなく細菌の塊であることを写真・動画で理解させている。歯みがきを意図的に中止した研究の可視化で、運動性細菌が増えることを示し、歯みがき

再開でその細菌が減る流れを示し、「磨けていない局所」は同じ環境になると解説している。

■ 個別指導

子どもの歯・口の健康状態、態度や習慣などには個人差があるため、全校生徒を対象とした集団指導だけでは、きめ細やかな行き届いた指導が行われにくいため、子ども一人ひとりの実態に応じた個別指導が必要となってくる。指導は、歯肉炎が解消できたり、きちんと磨けるようになったりなど子どもの健康課題を解決させるだけでなく、子どもが目標を達成するまでのプロセスで「できた」という自信を持たせることが大切である。

具体例として、検診で歯肉の状態が悪い生徒を抽出し、約3週間間隔で2回個別指導を実施する。

初回は染め出して自分の課題を自分で確認させ、歯科衛生士が一人ひとりに合う磨き方を指導し、「次回までやってみよう」と約束する。2回目で再評価し、PLAQUE 大幅減・発赤腫脹の改善がみられることが多い。できたことは必ず褒めるようにし、小さな成功体験が自己達成感を上げ、行動が続くと考えられる。毎年同じ成果とは限らないが、見違える改善は珍しくない。

近年、健康診断においてもむし歯や歯肉炎について、良い子と悪い子の二極化が指摘されている。ハイリスクの児童生徒については個別指導も含めた対応が必要になろう。



会員のみなさま

先生方のための動画情報提供サイト “三重県歯科医師会 カフェテリアサイト”のご案内

本サイトでは会員の先生方が
欲しい情報を動画でご覧いただけます。

三重県歯科医師会 会員専用ページ
下部のバナーからお入りください



MDA members-only site

MDA News Sunshine Net 都市歯会短信 諸会議資料 行事予定

新型コロナウイルス感染症について

新規気管支発生症の薬理説明について

Information For Members

MDA Top News

令和5年度第2回学術研修会

こちらからお入りいただけます。
サイトへアクセスする際には、
ログインID : mda
パスワード : 6488
を入力してください。

社会保険 学術 医療管理 福祉厚生 地域保健 広報情報

三重県歯科医師会 カフェテリア
先生方のための動画情報提供サイト

- ・三重県歯科医師会からのご案内
 - ・令和6年度診療報酬改定のお知らせ
 - ・医療機関経営情報
- などを動画でご覧いただけます。

三重県歯科医師会の会員専用ページの
バナーからお入りください



<https://www.dental-mie.or.jp/only/membertop.html>

お問合せ先

公益社団法人 三重県歯科医師会 (担当:竹仲)
〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目120-2 電話 059-227-6488

令和7年度

July

第2回都市会長会議

令和7年7月31日（木）

三重県歯科医師会館

令和8年度の三重県歯科保健大会は四日市市で開催



7月31日（木）、令和7年度第2回都市会長会議が開かれた。第2次稻本執行部初めての開催である。都市会長は3名が新会長となり、新たな顔ぶれとなった。稻本会長は、次年度の県歯要望事項について報告した。前田専務理事は、県歯・関連団体の役員についてと、歯科医師会の入退会手続き等について改めて説明した。学術委員会からは、初開催となる歯薬連携研修会と第1回学術研修会について、公衆衛生委員会からは、三重県地

域口腔ケアステーション設備整備事業補助金について詳細が説明された。今年度の対象は昨年同様ポータブルユニット等の在宅診療に必要な医療機器となる。社会保障委員会は、健康保険証の有効期限切れに伴う暫定的な取扱いに関する疑義解釈を説明。医療管理委員会は令和7年度新卒歯科衛生士の求人申込み件数や令和7年度インターンシップ・ジョブシャドウイング事業について説明。その後、令和8年度第31回三重県歯科保健大会の開催地についてと、学校歯科健診における受診先の適正化について協議した。

会長報告

令和8年度要望事項（県歯・県歯連盟）

一つ目は県庁職員への行政歯科医師の確保。

現在は桑員、南紀、伊賀の保健所に歯科医師が入っているが、県庁職員への歯科医師採用を要望する。二つ目は中学生までのスポーツマウス

ガード製作への補助。中学生のスポーツ中の歯のケガが多いと日学歯、日本スポーツ協会から報告がある。中学校の部活動が減少し、地域の運動クラブなどの活動が増える中、マウスマウスの役割は重要であり、補助を要望する。

一般会務報告

会員数

令和7年4月1日～7月30日の期間で入会6

名、退会7名。現会員数823名

関連団体の役職

三重県歯科医師国保組合及び協同組合等の執行部も新任期の役員が決まった。理事長は両組合とも前田和賢氏が就任。三重県歯科医師連盟は服部修氏が会長、前田和賢氏が理事長となった。

代議員・常任委員等

新しい代議員及び予備代議員も各都市歯で選出され、代議員総数は34名で1名減。6つの常任委員会も6月22日付で36名の委員に委嘱状が公布された。

三重県警察歯科医会

県歯役員20名と都市会長11名、推薦会員13名の計44名の個人会員と、法人会員としての三

重県歯で構成される。役員交代に伴い推薦会員も一部変更になっている。

入会手続き方法

都市歯で新入会員を迎えた際の、県歯及び日歯、日学歯への入会手続きについて、都市歯の

新執行部でも再確認されたい。

県歯・郡市歯科医師会役員連絡協議会

県歯・郡市歯担当者の情報交換・意見交換を早期に行い、効果的に事業を実施する目的で8月24日（日）に開催する。

委員会事業報告

【学術】（伊藤常務理事）

各都市会学術研修会

8月1日（金）～10月30日（木）の期間、桑員、津、尾鷲、伊賀で研修会が予定されている。
令和7年度第1回学術研修会

9月7日（日）に開催予定。日本歯科大学の小出馨名誉教授が「咬合と頸関節をわかりやすく」と題して講演する。

第1回三重県歯薬連携研修会

11月30日（日）に初開催を予定している。

【公衆衛生】（伊東常務理事）

第30回三重県歯科保健大会

令和7年11月16日（日）開催。場所は津市の三重県総合文化センター三重県文化会館中ホール。リアル開催のみ。特別講演は料理愛好家／シャンソン歌手の平野レミ氏による「胸にはエプロン、口にはシャンソン～健康な歯で食事を楽しく～」。

歯周病検診2023マニュアルに準拠した検診票への移行

歯周病検診2023マニュアルに沿って、各市町の問診票、検診票を統一していきたい。県歯案を作成したので、ご意見をいただきたい。

一般健康診断問診票を活用した歯科受診勧奨

特定健診等の問診票で歯科に関する設問に問題があった場合、歯科への受診勧奨が行われる。来院時は対応をよろしくお願いしたい。

令和7年度研修会等予定

8月28日（木）に第74回三重県学校歯科衛生大会、9月25日（木）に第11回歯科医師認知症対応力向上研修を開催する。10月に令和7年度地域口腔ケアステーション対応力向上研修、11月に第20回地域包括ケア歯科医療従事者養

成講座、12月に令和7年度全国共通がん医科歯科連携講習会・学校歯科保健先進地視察研修。病院歯科における口腔ケア実践研修は10月から12月となっている。2月に第16回みえ歯ートネット研修会、3月に令和7年度食と健康フォーラムを予定している。

令和7年度後期高齢者医療広域連合歯科健康診査実施歯科医療機関

登録医療機関は602機関となっている。デジタルコンテンツに注意事項等の動画を公開する。令和7年度フッ化物洗口推進事業実施施設

18施設で実施される。本年度は伊勢地区が17施設となっている。

令和7年度三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業

今年度の補助対象は、昨年と同様、在宅歯科診療に必要な医療機器等で1医療機関あたり補助額50万円までとなっている。8月中旬に申請募集開始。

【社会保障】（鳴神常務理事）

社保通知No.3「健康保険証の有効期限切れに伴う暫定的な取扱いに関する疑義解釈資料の送付」

令和7年8月1日以降、多数の自治体で国民健康保険の健康保険証が有効期限切れにより順次失効する。気がつかずに有効期限が切れた健康保険証を引き続き持参してしまう患者、健康保険証の切り替えに伴って通知された「資格情報のお知らせ」のみを持参する患者が保険医療機関等を訪れることが想定される。移行期の対応として、患者に10割の負担を求めるのではなく、保険給付を受ける資格を確認した上で適切に受診が行われるよう、被保険者番号等によりオンライン資格確認システムに資格情報

を照会するなどした上で、患者に対して3割等の一定の負担割合を求めてレセプト請求を行うこととする運用は、保険医療機関等の現場における実態を勘案すれば、暫定的な対応として差し支えないものと考える。

社保通知No.4「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きについて等の一部改正」

令和7年8月1日算定開始にかかる届出以降、届出受理通知の郵送による案内がなくなり、東海北陸厚生局のホームページで受理状況を確認することとなった。

社保連絡No.1「歯科外来・在宅ベースアップ評価料の算定実績の提供」

令和6年度に歯科外来・在宅ベースアップ評価料を算定している医療機関については、令和7年8月までに地方厚生（支）局長に提出する賃金改善実績報告書の項目において、評価料算定期間における評価料収入の実績額を記載することとされているが、請求レセプトをもとに集計した評価料収入実績額が、支払基金、国保連合会より各医療機関に参考値として提供されることとなった。

施設基準の届出の確認と令和7年度施設基準実施状況の報告

8月1日時点での施設基準の要件を確認のうえ、要件を満たしていない場合の報告及び特に必要な報告について、所定の様式で8月29日（金）までに提出されたい。

歯科用貴金属価格の随時改定

9月1日に点数改定される。歯科鋳造用金銀パラジウム合金1gが現在の3,299円から3,455円に改定される

【医療管理】（桑名常務理事）

令和7年度新卒歯科衛生士求人申込件数

県下歯科衛生士養成学校の3年生、3校82名に対して、7月25日現在での求人は123件。

令和7年度歯科衛生士インターンシップ・歯科医師ジョブシャドウイング事業

インターンシップ63名、ジョブシャドウイング11名を予定している。両事業への協力に感

謝している。

お盆期間中の各郡市歯診療状況

松阪・伊勢は休日診療所、伊賀は輪番制で対応している。その他の地区はかかりつけの歯科診療所に問合わせるよう案内している。

生産性向上・職場環境整備等支援事業補助金

令和7年3月31日時点でベースアップ評価料を届け出ている病院・有床診療所・無床診療所において、令和6年4月1日から令和8年3月31日までの間に実施する。限られた人員により効率的に業務を行う環境整備の取組みに対して三重県より補助がある。申請期間は第1回：令和7年6月25日（水）～令和7年9月30日（火）、第2回：令和7年11月25日（火）～令和8年2月10日（火）のどちらか1回となっている。日歯会員向けキャッシュレスサービス「SBペイメントサービス」

日歯会員限定の決算手数料の低いキャッシュレスサービスである。

令和7年度BLSヘルスケアプロバイダーコース（G2020）

10月19日（日）開催予定。受講料18,480円の他、テキスト代等も必要になるが、医療安全の観点からも、既修者・スタッフも含めて継続的に受講してほしい。

不当要求防止責任者講習

10月30日（木）開催予定。公益財団法人暴力追放三重県民センターでは、三重県公安委員会からの委託を受けて、暴力団等による不当な要求の被害を防止するため、各種事業所で選任した不当要求防止責任者に対して講習を行っている。

「みえ8020推進ネット」eラーニング動画

昨年立ち上げた「みえ8020推進ネット」で、株式会社チーフサポート歯科衛生士の福田知恵子氏によるeラーニング動画を毎月アップしている。勤務の歯科衛生士への登録呼びかけをお願いしたい。

医療事故調査制度の現況報告（4月・5月・6月）

医療事故報告件数は、4月が累計3,361件、相

談件数が累計 18,031 件、センター調査依頼件数が累計 290 件。5 月が累計 3,397 件、相談件数が累計 18,208 件、センター調査依頼件数が累計 293 件。6 月が累計 3,433 件、相談件数が累計 18,404 件。センター調査依頼件数が累計 297

件、いずれも歯科の報告はなかった。

救急医療情報システム運営状況等

昨年度は歯科だけで 1,000 件程の救急対応があった。引き続き協力をお願いする。

その他の報告

【災害時対応体制室】(前田専務理事・桑名常務理事) セコム安否確認システムの登録状況

7 月 25 日（金）現在の登録状況は会員数 822 名中登録者数 763 名（92.82%）。訓練の返信率が低いので、ご協力ををお願いしたい。

災害時の対応体制に関する郡市災害歯科医療コーディネーター

都市歯の新執行部での災害時の対応体制に関する担当者を報告されたい。

災害時優先電話

「災害時優先電話」は、災害の救援、復旧や公

共の秩序を維持するため、法令に基づき、防災関係等各種機関等に対し、固定電話及び携帯電話の各電気通信事業者が提供しているサービスである。都市歯で設置確認をお願いしたい。

【障害者歯科センター実績報告】(川瀬副会長)

4 月診療分：診療日数 8 日間、件数 113 件、実日数 124 日。5 月診療分：診療日数 8 日間、件数 90 件、実日数 115 日。6 月診療分：診療日数 7 日間、件数 105 件、実日数 121 日。

協議事項

令和8年度第31回三重県歯科保健大会の開催地について

第 31 回三重県歯科保健大会については、四市市で開催することが合意された。

学校歯科健診における受診先の適正化について (鈴鹿)

鈴鹿の萬代会長より、「学校歯科医でない歯科医師が学校歯科健診を行うことは是非について、会員から質問や要望が寄せられている。学校歯科健診のお知らせには、学校歯科医の診療所名を明記しているにもかかわらず、かかりつけの歯科医院を受診するケースが散見される状況です。このような事例に対し、取組みや対応策等があればご教示いただきたい。」との質問があった。

伊東常務理事は、「過去の事例としては、自費診療としたものや無料としたものなど様々であり、各都市歯内または都市歯と教育委員会との間で取り決めていただけだとよい。」と返答した。



(理事・加藤直輝 記)

第34回臨時代議員会

July

令和7年7月31日（木）

三重県歯科医師会館

山本議長、西村副議長を選出



7月31日（木）、第34回臨時代議員会が開かれた。稻本執行部2期目発足後、最初の代議員会であり、会長挨拶に続き、退任役員・代議員らの表彰が行われ、長年の功労に対して代議員らから大きな拍手が贈られた。議長には山本代議員（鳥羽志摩）が推薦され、副議長は議長指名により西村代議員（松阪地区）に決定した。稻本会長は報告に先立ち今期の所信を表明。「みえ歯と口腔の健康づくり基本条例」の基本計画や「第8次医療計画」の中に歯科医療・歯科口腔保健対策の取組みを一層進めるために、県行政、市町、関係機関・団体等の役割分担や相互連携強化を図ることを明言。また、地域完結型歯科保健医療の提供を目指し、在宅患者に対する多職種連携や、大規模災害や新興感染症に対しても非常時の歯科医療提供体制を構築する旨を示した。さらには医療DXの推進等の様々な変革に対してもすべての会員の先生方が安心・安全に診療できるような対策対応を心がけ、三重県歯科医師会が今後も社会に必要とされる誇りある会になるよう会務運営を進めたいと述べた。報告では、日歯等の関係団体の新役員について紹介したほか、日歯の「令和8年度制度・予算要望」について解説。議事では、3つの特別委員会（議事運営委員会・選挙管理委員会・裁定審議委員会）の委員委嘱について協議。議事運営委員は代議員らから7名が選出され、選挙管理委員と裁定審議委員については各郡市歯に持ち帰り所定の人数を選出することが承認された。

会長報告・会務報告等



会長2期目として執行部を率いることとなった稻本会長は、報告に先立って所信を表明した。

冒頭、三重県歯が全国に先駆けて公益社団法人の認定を2012年に受けてから約13年の歳月が経ち、組織体制が整備されてきたことを振り返り、この間には「みえ歯と口腔の健康づくり基本条例」の策定・改定が行われ、すべての県民のライフステージに応じた歯と口の健康づくりが推進されてきたと述べた。また、昨年策定された「第8次医療計画」では歯科医療、口腔保健対策のさらなる推進が求められており、県行政、市町、関係機関、団体等の役割分担や相互連携強化をより一層進めていきたいと強調された。

次いで、2040年問題とされている超高齢社会の到来に備え、地域の実情をふまえた歯科医療提供体制が必要で、医師会・薬剤師会等の団体と連携を図りながら地域完結型歯科保健医療が提供できるよう目指し、在宅患者の病態に応じた多職種連携や医療的ケア児に対しての医療提供体制を整備すること、さらには南海トラフ巨大地震等の大規模災害及び新興感染症に対しても、会員、従業員及びその家族の安全を第一に考えたうえで、非常時の歯科医療・歯科口腔保健サービス等を担う体制をより一層整えていく姿勢を示した。

また、医療DXの推進に関しては最大限の協力が求められており、すべての会員の先生方が安心・安全に診療できるように対応することも述べた。そして、今後起こりうる急速な変革に対しても、県

歯のシステムに沿って、会員の考えを集約しつつ、日歯で対応すべき課題については、様々な機会をとらえ県歯として意見具申をすると同時に、適切な情報提供を行うことも約束された。

最後に「着眼大局 着手小局」を信条に持って、県歯が今後も社会に必要とされる誇りある会になるよう会務運営を進めていきたいと述べ、県歯が会員にとって魅力ある組織にしていきたいと締め括った。

会長報告では、日歯や日歯連盟・日本歯科医学会等、関係団体新役員の紹介後、日歯の令和8年度制度・予算要望について解説された。

会務報告では、前田専務理事が、▽三重県代議員・予備代議員▽郡市歯役員▽県歯常任委員▽令和7年度年間行事予定一等を紹介した。

議事

- | | |
|-------|---------------------|
| 第1号議案 | 議事運営特別委員会委員の選出に関する件 |
| 第2号議案 | 選挙管理委員会委員の委嘱に関する件 |
| 第3号議案 | 裁定審議委員会委員の委嘱に関する件 |
| 第4号議案 | 顧問の委嘱に関する件 |



第1号議案の議事運営特別委員の選出については、規約に従い互選により、二之宮洋平（桑員）、柘植信哉（四日市）、林 竜一郎（鈴鹿）、亀井貴彦（津）、浜瀬太郎（松阪地区）、広野喜郎（鳥羽志摩）、関田英紀（伊賀）の各代議員が選出された。

第2号議案の選挙管理委員は、選挙規則により委員及び予備委員の数は各11名とし、代議員の議決による指名に基づいて会長が委嘱することと

なっており、慣例に従い各郡市歯から委員1名、予備委員1名を選出することとし、事前承認として議決された。

第3号議案の裁定審議会委員については規則により、委員7名を代議員会議決による指名に基づいて会長が委嘱することとなっており、慣例に従い桑員・四日市から2名、鈴鹿・亀山から1名、津・松阪地区から1名、伊勢地区・鳥羽志摩から1名、尾鷲・南紀から1名、伊賀から1名を協議のうえ選出することとし、第2号議案と同様に事前承認として議決された。第4号議案では今期の顧問を峰 正博元会長、田所 泰元会長、大杉和司前会長、倉田巖圓弁護士、岡本孝三税理士、小倉康彦税理士の6名に委嘱する案が示され、満場一致で可決された。

（常務理事・伊藤法彦 記）

令和7年度

August

第7回理事会

令和7年8月7日（木）

三重県歯科医師会館

令和8年度県行政等に関する要望事項



8月7日（木）、令和7年度第7回理事会が開催された。稻本会長は、令和8年度県行政等に関する要望事項について報告した。要望項目として、県庁への歯科医師の配置について、小・中学生におけるスポーツの安全対策のためのマウスガードの普及について、の2項目を述べた。この日の会合で、公衆衛生委員会が、多くの協議を求め、中でも口腔機能向上推進事業実施施設の選定や、今後三重県内で統一を検討している歯周病検診の検診票について

て、各理事から多くの意見が出された。全体協議では、8月24日（日）に開催される、三重県歯科医師会・都市歯科医師会役員連絡協議会に向け、スケジュールや各委員会の協議題について意見が交わされた。

報告等

●三役報告

【稻本会長】医療保健部における有識者ヒアリング（7/28）【川瀬副会長】令和7年度第1回三重県保険者協議会（Web）（7/25）【前田専務理事】令和7年度三重県警察官友の会理事会（7/14）、東海信越地区令和7年度第1回専務理事連絡協議会（7/19）

●社会保障委員会

【事業活動】自主懇談（事前）（7/3）、第50回社会保険疑義事項検討会議（7/10）、社保委員会（7/17）、自主懇談（直前）（7/19）、社保・国保審査委員会（歯科）歯科医師会連絡協議会（7/22）、個別指導（7/24）、自主懇談（事前）（7/30）、第51回社会保険疑義事項検討会議（7/31）【出席会議】令和6年度第1回三重県保険者協議会企画調査部会（7/3）【報告事項】診療報酬改定結果検証調査の実施に係るご協力のお願い、保険者からの再審査請求に係る症状詳

記依頼文書への写しレセプトの添付

●医療管理委員会

【事業活動】令和7年度第1回医療管理委員会（7/17）【出席会議】令和7年度第1回三重県感染支援ネットワーク研修会（Web）（7/6）、第66回日本歯科医療管理学会総会・学術大会（7/19、20）【報告事項】令和7年度新卒歯科衛生士求人申込件数、みえ8020推進ネットeラーニング「歯周検査の説明」、三重県警察本部制作サイバーセキュリティ対策動画第二弾「サイバー攻撃の脅威を知ろう」、歯科相談6件

●学術委員会

【事業活動】令和7年度第1回学術委員会（7/17）【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報（HP）、都市歯学術研修会助成金事業

●福祉厚生委員会

【事業活動】令和7年度第1回福祉厚生委員会（7/17）【協議事項】県歯睦寿会親睦会

●公衆衛生委員会

【事業活動】警察学校採用時歯科セミナー(7/10)、令和7年度フッ化物応用研修会(7/24)
 【出席会議】令和7年度第1回公衆衛生委員会(7/17)、第18回みえ歯ートネット運営協議会、令和7年度食支援担当者会議、令和7年度フッ化物洗口推進事業説明会、児童相談所歯科健診担当者事前打合せ(7/24)【報告事項】75歳からのお口の健康チェック受診勧奨、日歯：2024年度がん診療医科歯科連携事業紹介患者記録集計結果、診療所・訪問看護ステーション・介護事業所等の看護師、歯科衛生士等の医療従事者向け認知症対応力向上研修【協議事項】周術期に係る医歯薬連携啓発ポスター・リーフレット(案)、令和7年度三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業補助金、令和7年度食と健康フォーラム、令和7年度口腔機能向上推進事業実施施設、東海信越歯科医師会診療所型歯科健診、歯周病検診問診票・検診票・検診票(本人控え)(案)、令和8年度歯科保健推進事業計画

●広報情報委員会

【事業活動】『三歯会報』6・7月号発行、メルマガ発行(7/9、23)、MDA News、Sunshine Net(7月掲載記事110件)、三重テレビインフォマーシャル放送、FM三重『はぴはぴ子育て』、令和7年度第1回広報情報委員会(7/17)【報告事項】みえ2020推進ネットメルマガ、『三歯会報』8/24県歯・都市歯担当者連絡協議会記事、Instagram「三重県歯科医師会公式アカウント」、「いい歯の日」企画全国地方紙広告掲載

協議事項

1. 三重県歯科医師会・都市歯科医師会役員連絡協議会の開催について
2. 会務並びに事業の運営について

議題

第1号：三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業申請書

第2号：互助会給付(7/3~8/6申請分)

●スポーツ歯科PT

【出席会議】特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・三重2025年度第3回理事会(7/19)【報告事項】令和7年度日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会受講審査結果【協議事項】令和7年度三重スポーツデンティスト養成講習会

●デジタルコンテンツPT

【事業活動】令和7年度第2回デジタルコンテンツプロジェクト会議(7/3)、会員向け動画収録(公衆衛生、広報情報)(7/24)、令和7年度第3回デジタルコンテンツプロジェクト会議、会員向け動画収録(広報情報)(7/31)【報告事項】カフェテリアサイト動画再生数データ(4/1~7/31)

●障害者歯科センター

【事業活動】センター診療実績7月診療分

●災害時対応・体制室

【事業活動】第1回災害時対応・体制室打合せ(7/31)【報告事項】セコム登録状況(8/6)、セコム安否確認訓練(8/1)【協議事項】災害時の歯科保健体制等に関する研修会(2/12)

●女性歯科医師の会

【報告事項】女性歯科医師の会PT委員

●日歯委員会

【地域保健委員会】第1回地域保健委員会(8/6)

●その他の報告

介護保険給付費審査会(7/24)、令和7年度東海信越地区役員・同国保組合役員・同連盟役員合同連絡協議会

令和7年度

September

第8回理事会

令和7年9月3日（水）

三重県歯科医師会館

三重県歯科医師会公式Instagramの開設



9月3日（水）、令和7年度第8回理事会が開催された。稻本会長は、令和8年度概算要求について説明した。社会保障委員会は、医療DX推進体制整備加算の取扱いについて説明し、令和7年10月1日よりマイナ保険証利用率の区分が変更されることを報告した。医療管理委員会は、12月14日（日）開催の令和7年度第1回医療管理講習会に三重県医療保健部医療政策総括監の栗原康輔先生と三重大学大学院医学系研究科感染制御・感染症危機管理学教授／三重大学医学部附属病院感染制御部部長の田辺正樹先生、国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科の宇佐美雄司先生をお招きし、歯科診療における感染対策の現状と課題についてと、歯科従事者が経皮的暴露に遭遇した際の対応など、実践的な知識についてもご紹介いただく旨を報告した。公衆衛生委員会は、令和7年度歯と口の健康週間各事業の県審査結果について報告。広報情報委員会は公式Instagramの開設に伴う周知について、9月8日（月）に開設し県歯の活動や県内でのイベント情報など、様々な情報を伝えていく予定であることを報告。その後、8月24日（日）に開催された県歯・都市歯役員連絡協議会の各分科会報告があり、全体で各分科会の問題等を共有した。

報告等

●三役報告

【稻本会長】日歯：令和8年度税制改正要望書、令和8年度概算要求－歯科保健医療施策の概要－
【福森副会長】令和7年度第1回三重県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会（Web）（8/28）
【前田専務理事】令和7年度第1回三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会（8/8）

●社会保障委員会

【事業活動】自主懇談（事前）（8/7、20）、自主懇談（直前）（8/23）、県歯・都市歯役員連絡協議会（第4分科会）（8/24）、個別指導、自主懇談（事前）（8/28）
【報告事項】医療DX推進体制整備加算等の取扱い、社保連絡No.2「令和7

年度社保・国保審査委員会（歯科）歯科医師会連絡協議会における審査上の取り決め」、社保連絡No.3「マイナ保険証のスマートフォン搭載への対応」

●医療管理委員会

【事業活動】令和7年度県歯・都市歯役員連絡協議会（第5分科会）（8/24）
【出席会議】令和7年度名古屋国税局管内税務指導者協議会事前打合せ（8/28）
【報告事項】みえ8020推進ネットeラーニング「口腔衛生指導のポイント」、令和7年度三重県電子処方箋活用・普及促進事業費補助金、永年勤続表彰、令和7年度第1回医療管理講習会、厚労省：スマートフォンに搭載さ

れたマイナ保険証への対応に関する補助事業、キャッシュレス決済サービス「SBペイメントサービス」の料率引き下げ、歯科相談5件

●学術委員会

【事業活動】令和7年度県歯・都市歯役員連絡協議会（第2分科会）（8/24）、県薬剤師会との打合せ（8/28）【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報（HP）、都市歯学術研修会助成金事業

●福祉厚生委員会

【事業活動】令和7年度県歯・都市歯役員連絡協議会（第7分科会）（8/24）

●公衆衛生委員会

【事業活動】令和7年度県歯・都市歯役員連絡協議会（第3分科会）（8/24）、第74回三重県学校歯科衛生大会、令和7年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール県審査、令和7年度よい歯の児童生徒の県審査（8/28）【出席会議】令和7年度第1回三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会（8/20）、令和7年度第2回公衆衛生委員会、令和7年度口腔機能向上推進事業説明会（8/28）【報告事項】令和7年度歯と口の健康週間各事業県審査結果、第20回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座、令和7年度全国共通がん医科歯科連携講習会（第二版）、令和7年度学校歯科保健先進地視察研修、8020推進月間啓発チラシの配布、令和7年度労働衛生コンサルタント試験受験講習会【協議事項】歯周病検診問診票・検診票・検診票（本人控え）（案）、令和8年度歯科保健推進事業計画（案）、病院歯科における口腔ケア実践研修における参加者の選定

●広報情報委員会

【事業活動】『三歯会報』8・9月号発行、メルマガ発行（8/6、27）、MDA News、Sunshine Net（8月掲載記事91件）、FM三重『はびはび子育て』、令和7年度県歯・都市歯役員連絡協議会（第6分科会）（8/24）【報告事項】三重県歯科医師会公式Instagram開設に伴う周知【協議事項】三重テレビ「歯っぴーデイ」出演、令和8年度最新歯科医療実態調査日程

●スポーツ歯科PT

【報告事項】令和7年度三重スポーツデンティスト養成講習会

●デジタルコンテンツPT

【事業活動】会員向け動画収録（学術）（8/21）【報告事項】カフェテリアサイト動画再生数データ（4/1～8/28）

●障害者歯科センター

【事業活動】県立公衆衛生学院歯科衛生学科臨地実習事前学習（8/21）、センター診療実績8月診療分

●災害時対応・体制室

【出席会議】日歯：JDAT標準研修会（8/31）【報告事項】セコム登録状況（9/2）、都市災害歯科医療コーディネーター【協議事項】南海トラフ地震発生時における県歯・都市歯の歯科医療救護体制（時系列整理）

●日歯委員会

【社会保険委員会】第1回社会保険委員会（8/6）

●その他の報告

介護保険給付費審査会（8/25）、県歯・都市歯役員連絡協議会各分科会報告、令和7年度東海信越地区役員・同国保組合役員・同連盟役員合同連絡協議会分科会提出協議題

協議事項

1. 会務並びに事業の運営について

議題

第1号：定款第12条に該当する退会（みなし退会）通知の送付

三重県歯科医師会 都市歯科医師会 役員連絡協議会

令和7年8月24日（日）
三重県歯科医師会館



8月24日（日）、県歯・都市歯役員連絡協議会が開かれた。この協議会は2013年に初めて開かれたもので2年に一度開催しており、コロナ禍で中止はあったものの今回が6回目の開催。会場となった県歯会館には県歯及び都市歯の新執行部の役員、約130名が集結した。稻本会長は冒頭の挨拶の中で、この日の協議を通じて他都市の活動内容を参考にして会務運営をしていただき、今後より一層県歯事業への理解と協力が得られることを期待したいと述べた。

次いで、三歯連盟・服部会長と三歯協同組合・前田理事長が来賓として挨拶。新執行部の役員が紹介された後、日本歯科医師会・大杉和司常務理事が「令和8年度診療報酬改定に向かって」と題して特別講演された。大杉常務は本年より中央社会保険医療協議会（中医協）の委員にも就任しており、講演では中医協の仕組みや令和8年度改定の方向性などを詳述した。

日程の後半は7つの分科会での協議に移り、参加者は県歯会館内の各会議室に分かれ、様々な課題について活発な意見交換を行った。

第1分科会

第1分科会には、県歯・都市歯の会長・副会長・専務理事・監事等の役員26名が出席。県歯稻本会長の挨拶の後、川瀬副会長より「マイナ保険証のスマートフォン搭載への対応について」、前田専務理事より「病院歯科における口腔ケア実践研修参加者再募集について」それぞれ報告があった。

協議題は10題。桑員の「事業承継について」で

会務全般

は、第三者への医院承継（M & A）が桑員で2件あるが、その他の都市歯では現在のところない。稻本会長は大都市圏を中心に顕在化しており、地域医療に根差した形での譲渡が望まれるところであると述べた。四日市からの「各都市医師会、薬剤師会との連携について」では、様々な場面で医師会、薬剤師会と連携している都市歯が多く、特

に病院歯科のある地区では積極的な連携が見られた。また、現在病院歯科の無い地区で新規に病院歯科の立ち上げを考えている都市歯もあった。津からの「医療救護所での対応について」では災害発生初期の歯科医師会としての対応は、トリアージの補助あるいは救護の手助けとの発言があったが具体的には検討中の都市歯が多いようである。県歯は参考資料として「南海トラフ地震発生における三重県歯科医師会・都市歯科医師会の歯科医療救護体制」を示した。南紀からの「8020 表彰の継続について」では、県歯としては令和6年度8020 達成者が61.5%であることも踏まえ、評価方

法・表彰方法について今後再考する必要があると述べた。



第2分科会



第2分科会には、都市歯からは鳥羽志摩、尾鷲を除く9地区から13名が、県歯からは伊藤常務理事が参加した。県歯から▽令和6、7年度日歯生涯研修事業・日歯生涯研修セミナー▽学術関連研修会・講習会の年間スケジュール▽地区学術研修会の助成事業一等について報告があり、本年度新規事業の薬剤師会との連携事業である歯薬連携についても説明があった。

協議では各都市歯での学術講演会の年間回数、

学術

開催形式、講師選定について主に時間が割かれた。学術講演会をハイブリッド形式で開催している地区は現在少なく、コロナが5類に移行してからリアル開催に戻した地区が多い。リアル開催のほうが講演及び質疑応答で臨場感があり、懇親会等も含めて講師とより深い話ができるというメリットはある一方で、ハイブリッド形式の時に比べたら参加者は少ないと意見もあった。

また、各地区の講演会の講師料についてはどの地区もほぼ同額であり、開催日は日曜日の午前中としている地区多かった。講師やテーマにより参加者数は多少変動があるが、どの地区も参加者確保に苦慮している面もあり、総会等の多くの会員が参加する日程にあわせて学術研修会も同時開催している地区もみられた。県歯の学術講演会は講師には県歯会館に来ていただくことを原則として、遠方の会員も受講しやすいハイブリッド形式は今後も継続する予定である。

第3分科会

第3分科会は県歯から伊東常務理事、新理事、大元理事、田中理事と都市歯役員20名が出席した。県歯から三重県歯科保健大会・病院歯科実践研修について報告後、協議では▽学校関係▽連携

公衆衛生

関係▽健診関係▽災害関係一等多岐にわたって意見交換を行った。

学校関係ではよい歯のコンクール審査方法、選出方法について、また学校歯科検診における欠席

児童の扱いや、学校歯科医の推薦に関する取り決めなどについて情報共有が行われた。よい歯のコンクール審査では、写真審査、模型審査、対面審査など様々な事例について報告があり、学校歯科医の推薦では日学歯入会が条件という地区もあった。

連携関係では各地区に設置された口腔ケアステーションと市町行政との連携について、また医科歯科薬科連携の状況と今後の展開についての協議題が出され、松阪地区からは糖尿病と歯周病医科歯科連携、薬剤関連顎骨壊死の医科歯科連携の事例について説明があった。行政や医科薬科との関わり合いも各地区において差が見られるため、今後、積極的な連携体制の構築が望まれる。県歯では例年開催される医科歯科合同研修会、そして今年度は新たに歯薬連携研修会も行われる予定となっている。

健診関係では特化物（酸蝕症）健診での工場の視察について、また災害関係では災害関連死で大きな割合を占める誤嚥性肺炎が肺炎球菌ワクチンで防げると誤解している一般の方が多く、その情報発信の必要性についての協議題が出された。

県歯からは改定予定である歯周病検診の問診票及び検診票について、また令和7年度歯科保健推進事業についての詳細な説明がなされた。



第4分科会

社会保障



第4分科会は県歯から鳴神常務理事、西本理事、中川理事、伊藤理事と都市歯からは役員14名が出席した。県歯から▽令和7年度社保関連事業計画▽会員からの質問の取り扱い及び周知▽三重県の行政指導▽社保連絡No.2・No.3▽医療DX推進整備加算等の取り扱い▽第25回医療経済実態調査の協力依頼一等について報告。

会員からの質問に関しては県歯社会保障委員が取りまとめ、県歯役員へ連絡する流れを確認。行

政指導については昨年度の実施件数及び本年度の共同指導を含む実施状況、実施予定件数について説明。その他、社保・国保審査委員会（歯科）歯科医師会連絡協議会の協議結果の報告、マイナ保険証のスマートフォン搭載への対応、医療DX推進体制整備加算の取り扱い、第25医療経済実態調査（医療機関等調査）の協力依頼について説明があった。

協議では会員からの質問への対応や情報共有について意見交換が行われた。また診療報酬改定時の施設基準の申請に関しては各都市歯の現状を聞き取り、会員数の規模により対応は様々であるが資料などは県歯主導での希望が寄せられた。県歯からの新たな情報は社保連絡、社保通知、デジタルコンテンツ等を利用して会員周知に努める。今後医療DXやオンライン資格確認等のトラブルも増えることが予想されるが、対応については情報共有しながら取り組んでいくことが説明された。

第5分科会



第5分科会には、都市歯から14名の医療管理担当役員が、県歯からは桑名常務理事と大西理事が参加した。報告では、▽みえ8020推進ネット▽令和7年度県内歯科衛生士学校入学者状況▽SNS広告(TikTok)▽インターンシップ・ジョブシャドウイング事業▽新卒歯科衛生士求人申込件数▽

医療管理

歯科衛生士による浸潤麻酔行為の取扱い▽令和7年度版医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト▽BLSヘルスケアプロバイダーコース・ハンズオンリーCPR/AED講習会▽令和7年度生産性向上・職場環境整備等支援事業▽会員向けキャッシュレスサービス「SBペイメントサービス」について一等の多岐事項及び令和7・8年度事業スケジュールを詳述。

都市歯から提出された協議題は、▽立入検査への対応(桑員)▽各都市歯の医療管理における活動内容及び医療管理講習会について(四日市)▽AEDの取扱い、斡旋について(四日市・鈴鹿)、▽大規模災害時の対応、備蓄品に関して(亀山・南紀・伊賀)等について各都市歯の実態報告を交えながら活発な意見が交わされた。

第6分科会



第6分科会は県歯から加藤理事、重盛理事が、都市歯からは広報担当役員ら11名が出席した。県歯からは対会員広報、対外広報の概要について報告があり、対会員広報として三歯会報、L-net通信、県歯ウェブサイト、メールマガジン、LINEを用いていることを紹介。続いて対外広報としては三重テレビ放送「Mieライブ」や、FM三重「はぴはぴ子育て」等の情報番組に出演するなどマスメディアを活用した情報発信、県歯ホームページの県民向け動画が紹介された。また、9月に三重

広報情報

県歯Instagramを開設予定であることが報告された。また、令和8年3月実施予定の「最新歯科医療実態調査」についても説明があり、回収率を上げるための協力が求められた。都市歯からは、▽ホームページの有効利用▽各都市歯内の会員への連絡手段▽アプリやインターネットを利用した連絡▽他職種連携事業における広報委員の活動といった協議題が挙げられた。都市歯では、ホームページは主に口腔ケアステーションや健診事業の広報と会内連絡に使用されており、対外広報については行政誌等に頼っているところが多い。会員の連絡手段としては、FAXは減少してきており、メール、LINEや他のアプリでの連絡も少しずつ増えてきている。他職種連携事業における広報委員の活動については、連携している部署が他職種と共同で対外広報を行うことが多く、広報委員は事業内容を会員に広報する役割を担っているようである。県歯としても、今回の連絡協議会で得られた情報を生かして広報活動を行っていく。

第7分科会

福祉厚生



第7分科会は県歯から佐野理事が、郡市歯からは福祉厚生担当役員ら10名が出席した。はじめに県歯から▽県歯睦寿会親睦会▽互助会制度▽会員死亡時の手続き▽団体保険－等について報告。特にグループ保険や各種保険に適用されている团体割引により掛金が低額に抑えられていること等、

歯科医師会会員にしか享受できない各種メリットを伝えた。続いて佐野理事が委員を務める日本歯科医師会厚生委員会の活動状況を報告し、他県の福祉厚生事業についても紹介され、各都市歯での取組みの参考になるよう情報共有された。

協議では各都市歯で行われている研修旅行について多くの時間が割かれ、活発な意見交換が行われた。費用や行き先、開催日時、研修内容など、企画のあり方について幅広く議論されるとともに、会員数の少ない地区における事業実施の難しさから、合同開催の可能性についても検討された。参加人数の減少が課題となっている現状を受け、今後どのように魅力的な企画をし、より多くの会員が参加できるよう工夫していくかが重要であるとの意見が多くあった。





8月・9月会務日誌

8月

- 5日 常務理事会開催
 6日 日本歯科医師会第1回社会保険委員会に川瀬副会長出席
 日本歯科医師会第1回地域保健委員会に伊東常務理事出席
 7日 第7回理事会開催
 8日 第1回三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会に前田専務理事出席
 20日 第1回三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会に伊東常務理事、新理事出席（Web）
 名古屋国税局管内税務顧問会議が愛知県で開催され小倉顧問税理士出席
 21日 第30回三重県歯科保健大会第2回実行

- 委員会開催
 24日 三重県歯科医師会・郡市歯科医師会役員連絡協議会開催
 28日 第74回三重県学校歯科衛生大会、歯・口の健康に関する図画・ポスター конкурール県審査、第2回公衆衛生委員会、よい歯の児童生徒の審査並びに表彰県審査、口腔機能向上推進事業説明会開催
 第1回三重県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会に福森副会長出席（Web）
 31日 日本歯科医師会 JDAT 標準研修会に新理事出席（Web）

9月

- 2日 常務理事会開催
 3日 第8回理事会開催
 7日 第1回学術研修会、第2回学術委員会開催
 三重県小児保健協会理事会・第89回学術集会に福森副会長出席
 10日 第1回三重県国保連合会保健事業支援・評価委員会に前田専務理事出席（Web）
 11日 第1回選挙管理委員会、第1回裁定審議委員会開催
 16日 第1回三重県保険者協議会健康づくり部会に新理事出席（Web）
 17日 第41回中規模県歯科医師会連合会が東

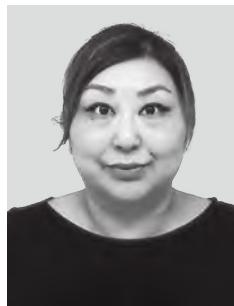
- 京都で開催され稻本会長、前田専務理事出席
 18日 日本歯科医師会第206回臨時代議員会に稻本会長、前田専務理事出席
 23日 内堀典保先生の旭日小綬章受賞を祝う会に稻本会長出席
 25日 第11回歯科医師認知症対応力向上研修、第1回女性歯科医師の会プロジェクト会議、いい歯の8020コンクール審査委員会開催
 28日 西井政彦氏叙勲受賞祝賀会に稻本会長出席
 30日 常務理事会開催



会員消息 Member's News

本会会員数	(10月1日現在)
正会員第1種（一般）	653名
正会員第2種（勤務）	32名
正会員終身	125名
準会員第3種（法人）	10名
準会員第4種（直属）	2名
長期の疾病等の会員	0名
計	822名
日歯会員数	(8月31日現在)
63,598名	

新入会員



ドイル千穂先生 (10. 1付)
 (鈔)多気郡明和町竹川353
 医療法人大徹会
 北島医院 歯科
 電 話 090-2718-1182
 F A X 0596-53-2080
 (松阪地区)

診療所名変更

近藤 聰先生 (四日市)
 こんどう歯科・矯正歯科

診療所廃止

村田憲美先生 (尾鷲)
 竹田耕生先生 (尾鷲)

謹んでおくやみ申し上げます



佐藤和香先生 (直属会員)
 去る8月18日、お亡くなりになられました。
 享年96歳

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛に
 お申し込みください。
 三重県歯科医師会協同組合ホームページ
 からオンラインでも購入できます。
<http://www.dental-mie.or.jp/only/kyoudoukumiai/>

歯科経理帳 (12か月分)	970円
収支日計表 (100枚綴)	640円
患者日計表 (100枚綴)	640円
領収書(明細書式) (100枚綴)	480円
その他、保険診療情報提供文書各種等	



新入会員プロフィール

ドイル千穂先生（松阪地区）

1. 学歴

高校 三重県立伊勢高等学校

大学 奥羽大学（2004年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

2005年 4月 奥羽大学歯学部附属病院口腔
外科

2006年 4月 東京都内開業医勤務

2015年 5月 三重県松阪市内開業医勤務

2024年 10月 医療法人大徹会北島医院内に
歯科設立

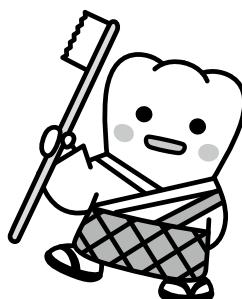
3. メッセージ

私は大学時代6年間を福島県郡山市で過ごしました。山々が美しく聳え立つ自然豊かな土地で、学友達と過ごした日々は人生の宝物の一つです。休みの日には友人達と、または、一人でドライブに出掛けることも。猪苗代湖にある野口英世先生

の記念館には何度も足を運び、野口先生が人生をかけて人類に貢献した功績に思いを馳せたものです。

医療人として人の役に立ちたい、困っている人を助けたい気持ちは、幼い頃から父の背中を見て変わらずあったものでした。歯科医師になって約20年ですが、外来診療を主にしつつ、往診も並行して従事してきました。超高齢化社会の日本で、働き盛りの層も減少している昨今の現状を目の当たりにし、昨年の10月に一念発起して訪問診療を主とする歯科を立ち上げました。これから地元の明和町を中心に皆様のお力になればと思い邁進していく所存でございます。三県歯科医師会の創設メンバーの一人だった曾祖父に誇ってもらえる様な歯科医師人生を歩んでいきたいと思います。

よろしくお願い致します。





告知板

Information

**良好な人間関係を構築するためには
歯科に役立つ心理学**

愛知学院大学歯学部同窓会
ポストグラデュエートコース(PGC) × 女性企画委員会
コラボ講演会

2026.1.25(日) 9:30 ~ 12:30

場 所 愛知学院大学歯学部
楠元キャンパス基礎教育研究棟
およびリモート(Zoom)によるハイブリッド開催

講 師 葛文綺 先生
愛知学院大学 心理学部 心理学科 教授

申 込 QRコードまたは以下のURLからお申し込みください
<http://www.aichigakuin-pgc.com/entry/index.html>

受 講 料

	事前申込	当日申込
本学同窓会会員・学部生	無料	3,000円
その他	2,000円	3,000円

申込期限 令和8年1月22日(木)

主 催: 愛知学院大学歯学部同窓会 女性企画委員会
問合せ先: 愛知学院大学歯学部同窓会事務局(担当 清水) TEL(052)763-1931

お申込はこちら▼



福祉医療費助成に関するお知らせ

令和7年9月1日から多くの市町において、現物給付の対象年齢の拡大や
所得制限の撤廃等の福祉医療費助成制度が変更されましたので、
受診の際には受給者資格証の確認をお願いいたします。

市町	通院	所得制限	自己負担金	現物給付の対象	備考
いなべ市	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末まで拡大
東員町	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～対象者の範囲を18歳年度末まで拡大 R7.9.1～所得制限無 R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末まで拡大
朝日町	15歳年度末	無	無	15歳年度末	R7.9.1～現物給付の対象者を15歳年度末まで拡大
多気町	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～対象者の範囲及び現物給付の上限を18歳年度末まで拡大
明和町	15歳年度末	有	無	15歳年度末	R7.9.1～現物給付の上限を15歳年度末まで拡大
大台町	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末まで拡大
伊勢市	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～対象者の範囲を18歳年度末まで拡大 R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末までに拡大
玉城町	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～対象者の範囲を18歳年度末まで拡大 R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末までに拡大
度会町	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～対象者の範囲を18歳年度末まで拡大 R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末までに拡大
熊野市	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末まで拡大
御浜町	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～県内及び和歌山県新宮市の医療機関等を受診する場合、現物給付の上限を18歳年度末まで拡大
紀宝町	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～和歌山県新宮市の医療機関を受診する場合、現物給付の対象年齢を国保加入者のみ18歳年度末まで拡大、県内医療機関及び社保加入者は既に18歳年度末まで拡大済
伊賀市	18歳年度末	無	無	18歳年度末	R7.9.1～対象者の範囲を18歳年度末まで拡大 R7.9.1～現物給付の上限を18歳年度末までに拡大



会員の広場

Member's Plaza

第47回三重県歯科医師会ゴルフ大会開催

9月25日(木)、総勢29名(桑員3名、鈴鹿6名、津12名、松阪4名、伊勢2名、伊賀2名)の先生方にご参加いただき、第47回三重県歯科医師会ゴルフ大会を中日カントリークラブ(鈴鹿市)で開催しました。早朝は小雨でしたがラウンド中は曇天。さほど暑さを感じることなく、ゴルフ日和の一日でした。



グロス団体の部では、昨年の覇者鈴鹿よりカップの返還を受け、本年の覇者津へカップが手渡されました。

敬称略

ダブルペリアの部(ハンディ上限36)		Gross	HDCP	Net	
優 勝	生川 豊成 (鈴鹿)	84	12.0	72.0	
準優勝	吉田 昌夫 (松阪)	81	8.4	72.6	*年齢上位
3 位	永川 稔晃 (桑員)	93	20.4	72.6	

ベストグロス

中村 伸也 (津) 77

グロス 団体の部 ストローク

優 勝	津	322.0	中村伸也 77	鈴木晶博 80	佐南清作 80	森川晃秀 85
2 位	松阪 伊勢 伊賀	346.0	吉田昌夫 81	西岡久穂 86	中野稔也 88	武田佳子 91

ご参加ありがとうございました。

来年第48回大会は日並びの関係から、令和8年9月17日(木)に開催予定です。

多くの先生方のご参加をお待ちしています。

(津・鏡 忠明 記)



野球部活動報告



1回戦 三重 8 – 10 静岡 3位決定戦 三重 6 – 5 愛知

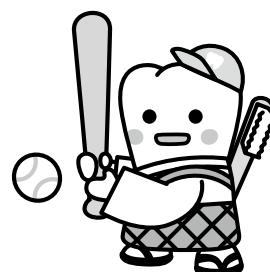
昨年の5月26日（日）に第72回東海四県歯科医師野球大会が行われました。

初参加にして打った瞬間それと分かるスリーランをかっ飛ばした中井先生、反撃の口火を切ったこちらも初参戦の坪井先生、最終回逆転サヨナラのチャンスでポップフライのK原先生をはじめ、皆さまお忙しい中&暑い中ご参加いただきありがとうございました。

今年は、村上が満塁ホームランをかっ飛ばした長良川球場にて、10月26日に行いました。

三重県歯科医師野球部はメンバーを絶賛募集中ですので、野球をやりたい！という方がみえましたら、野球部員にお声掛けしていただけると幸いです。三重県歯科医師野球部はどなたでもウェルカムです！（私のように1イニング3エラーでも許されます）

（津・小林周一郎 記）





互助会の現況

(令和7年8月1日～31日)

第1部（疾病共済）

入会	0名	退会	0名	累計	656名
収入累計	190,311,043円			繰越	190,311,043円
				入金	0円
支 出	360,000円				
				定期	148,000,000円
残 高	189,951,043円			普通	41,951,043円
				国債	0円

療養給付：2名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

入会	0名	退会	0名	累計	656名
収入累計	179,157,591円			繰越	179,099,401円
				入金	58,190円
支 出	0円				
				定期	110,690,000円
残 高	179,157,591円			普通	68,467,591円

災害給付：0名

(令和7年9月1日～30日)

第1部（疾病共済）

入会	0名	退会	0名	累計	656名
収入累計	206,277,644円			繰越	189,951,043円
				入金	16,326,601円
支 出	0円				
				定期	148,000,000円
残 高	206,277,644円			普通	58,277,644円
				国債	0円

療養給付：0名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

入会	0名	退会	0名	累計	656名
収入累計	181,209,341円			繰越	179,157,591円
				入金	2,051,750円
支 出	0円				
				定期	110,690,000円
残 高	181,209,341円			普通	70,519,341円

災害給付：0名

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会無料職業紹介所のホームページに
ぜひご登録をお願いいたします。



◆無料職業紹介所ホームページ◆

<https://kyujin.dental-mie.jp/>



※県歯ホームページからもアクセスできます。

公益社団法人 三重県歯科医師会

歯科医療技術者無料職業紹介所

〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2 Tel059-227-6480

国保組合の現況

令和7年6月／令和7年7月

保険給付状況

令和7年6月

		件数	費用額	保険者負担額 (金額)
療養費 給付費	当月分	4,330	67,130,630	47,459,201
	累計	13,036	199,106,390	140,960,895
療養費	当月分	117		353,086
	累計	342		1,080,196
高額療養費	当月分	33		3,913,616
	累計	139		15,529,816
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	10		5,000,000
	累計	25		12,500,000
葬祭費	当月分	2		230,000
	累計	4		480,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	—		—
	累計	2		1,040
傷病手当金	当月分	25		708,000
	累計	70		2,307,000

令和7年7月

		件数	費用額	保険者負担額 (金額)
療養費 給付費	当月分	4,429	75,825,154	53,286,248
	累計	17,465	274,931,544	194,247,143
療養費	当月分	119		423,903
	累計	461		1,504,099
高額療養費	当月分	45		3,568,225
	累計	184		19,098,041
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	6		3,000,000
	累計	31		15,500,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	4		480,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	1		780
	累計	3		1,820
傷病手当金	当月分	20		725,000
	累計	90		3,032,000

収支状況

令和7年度令和7年7月累計

区分	金額
歳入合計	844,087,554
歳出合計	304,236,363
收支差引残	539,851,191

令和7年度令和7年8月累計

区分	金額
歳入合計	948,091,375
歳出合計	408,841,047
收支差引残	539,250,328

被保険者異動状況

令和7年8月31日現在

区分	被保険者数	前月との比較
組合員	2,948	△1
家族	1,225	4
計	4,173	3

令和7年9月30日現在

区分	被保険者数	前月との比較
組合員	2,945	△3
家族	1,226	1
計	4,171	△2

編集後記 Editor's Note

三重県歯科医師会の公式 Instagram が開設されました。SNS やアプリが普及した今、医院の公式 LINE やネット予約など患者さんとのコミュニケーションのあり方は、時代とともに大きく変わってきました。そのようなツールは、どこまで踏み込むか、どこで線を引くかは悩ましいところです。

「Instagram 以上 LINE 未満」

これは、親しみはあるけれどプライベートには踏み込まない、ちょうどいい距離感を指す言葉です。

Instagram は、パブリックなつながりとしてとらえると、歯科医院の Instagram アカウントは、医院の雰囲気やスタッフの人柄を伝えるツールとして、とても有効です。患者さんは、診療室の外の医院を知ることができ、安心感を持つことができます。

一方、LINE はプライベートで密な関係なものとしてとらえると、個人的な連絡手段となります。診療の予約や相談を LINE で受ける医院もありますが、返信のタイミングや内容に気を遣うなど、やりとりの「深さ」が求められることもあると思います。

よって、私たちが目指すのは「Instagram 以上 LINE 未満」の関係性のような、ちょうどよい距離感が信頼につながるのではないか？

「ちょっとしたことを聞けるけど、生活には踏み込まれない」そんな、信頼と安心のバランスを、これからも大切にしていきたいと思いますが、医療は人対人。電話で患者さんからの声を直接聞くことで、その日の体調なども把握できるので、アナログな予約の取り方も大切にしたいと思います。

(広報情報理事・重盛登世 記)

11月 は

厚生労働省 三重労働局

「労働保険未手続事業一掃強化期間」です

労働保険は、労災保険（労働者災害補償保険）と雇用保険の総称で、

事業主向け各種助成金制度や、仕事や通勤による傷病に係る療養や休業、失業の際に、

労働者とその家族を守るセーフティーネットとして重要な役割を果たします。

事業主は正社員、パート、アルバイトなどの、名称や雇用形態に関わらず、一人でも雇つたら

従業員を守る責任と、労働保険の成立手続を行う義務があります。

労働保険とは

労災保険

労働者が仕事（業務）や通勤が原因で負傷した場合、また、病気になつた場合や亡くなった場合に、被災労働者やご遺族を保護するための給付等を行っています。

雇用保険

労働者が失業した場合や働き続けることが困難になった場合、また自ら教育訓練を受けた場合に、生活・雇用の安定と就職の促進を図るために給付等を行っています。

事業主のための助成金（就職が困難な者の雇い入れや、労働者のキャリアアップや年収の壁対策などに取り組む事業主に助成）を支給しています。

お問い合わせ

三重労働局労働保険窓口 TEL059-226-2100

又は、最寄りの労働基準監督署、公共職業安定所（ハローワーク）へ

令和7年11月10日印刷 / 令和7年11月15日発行

発行所 / 〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目120-2 公益社団法人三重県歯科医師会

☎ 059-227-6488 / 発行人 / 稲本良則 / 編集 / 広報情報委員会 / 印刷 / 伊藤印刷株式会社
三重県歯科医師会公式ウェブサイト address <https://www.dental-mie.or.jp/>

3つの特徴

1

登録者限定の
ウェビナー
講演



2

ダイジェスト
動画も
満載



シユミテクト

カムテクト

3

いつでも
どこでも
サンプル入手

ポリデント

新ポリグリップ



歯科医療従事者向け専門サイト

Haleon ヘルスパートナー

ご登録は無料です。

ご登録は歯科医療従事者様に限ります

Haleon ヘルスパートナー

検索

<https://www.haleonhealthpartner.com>



Haleon ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR

グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社は、
2024年9月2日にHaleon ジャパン株式会社に法人名を変更いたしました。



光重合型コンポジットレジン PROGRESS

プログレス

2種類のサイズの微小真球状のDUOS(デュオス) フィラーを高密度充填。 物性と審美性の両面を追及し、かつ粘性をおさえ、操作性にも優れた、高強度タイプのユニバーサルコンポジットです。

- 色調：エナメル、A1、A2、A3、A3.5、B2、B3、C3
- 内容量：4g
- 管理医療機器：20300BZZ01386000

フッ素配合光重合型コンポジットレジン PROGRESS PLUS

プログレス・プラス

プログレスにフッ素をプラス。 2種類の特殊球状フィラーが高密度に配合されているので着色・変色に強く、研磨面の凸凹が少くなり、天然歯に近い艶やかさと滑らかさを再現します。

- 色調：A1、A2、A3、A3.5、B2、B3、C3
- 内容量：4g
- 管理医療機器：218AFBZX00018000

フッ素配合光重合型コンポジットレジン PROGRESS FLOW

プログレス・フロー

浅い狭い複雑・見にくいなど、充填の困難な部位にも簡単に充填できるフッ素配合フロータイプ。 CR充填のベース材にも最適。前歯・臼歯を選ばず使用が可能。

- 色調：A1、A2、A3、A3.5、B3
- 内容量：1.8g
- 管理医療機器：218AFBZX00017000

製造販売元

睦化学工業株式会社

〒510-0804 三重県四日市市万古町8-9

TEL 059-331-2354(代) FAX 059-331-1044

<http://www.mutsumikagaku.co.jp>

愛知県医療信用組合は、歯科医師のための 「相互扶助」の金融機関です。

日頃のご愛顧に感謝し好評発売中！



歯科医師応援ファンド

当初4年間 0.90% (固定)、5年目以降 変動金利
5千万円まで、最長20年 (1千万円以下は10年)

教育ローン<スマート>

1.50%～ 2千万円まで 15年以内
歯・医・薬学部 1.30%～
※2千万円超をご希望の場合はご連絡ください

マイカーローン<クイック>

1.50%～ 2千万円まで 15年以内

詳細はホームページを
ご参照ください。

愛知県医療信用組合

検索

<https://www.iryoushin.com/>



愛知県医療信用組合

お気軽に
ご照会ください



〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目5番18号 愛知県歯科医師会館6階

TEL: (052) 962-9569 FAX: (052) 951-8651



SOMPO

受け継ぐのは、人への思い。

私たちのはじまりは130年以前の明治時代。

「人々の暮らしや幸せをお守りしたい」

この創業の思いが、原点であり原動力です。

これからも、すべての人々の幸せとより良い社会の実現に向け、

私たちは挑み続けます。



東京の街を守るため結成された
私設消防団「東京火災消防組」(1888年)



損保ジャパン
の
ブランドヒストリーは
こちら▶



損保ジャパン

会員好評受付中!

mint

三重イソネットサービス

**ブロードバンドが未来をひらく!
mintはインターネットをトータルにサポートします。**

<https://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Adverl SH

進化した「やさしい治療」

Er:YAGレーザーは、水を含んだ生体組織に対する蒸散能力が高く、表層にのみ反応が起こり、熱の発生が微小なため、痛みが少ないという特徴を持つ。人にやさしいレーザーです。

アドベールSHは治療に必要な機能をコンパクトなボディに集約したEr:YAGレーザー装置です。高パルス、高出力に加え、治療をナビゲートするプリセットモードで、さまざまな治療シーンに対応できます。



発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161
製造販売 株式会社 モリタ製作所 本社: 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141 販売名: アドベールSH 一般的名称: エルビウム・ヤグレーザ 機器の分類: 高度管理医療機器(クラスIII)
特定保守管理医療機器 承認番号: 30500BZX00080000 販売名: レザチップ 一般的名称: レーザ用コンタクトチップ 機器の分類: 高度管理医療機器(クラスIII) 承認番号: 21500BZZ00721000

お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800. 222 8020 (フリーコール)

製品紹介ページ

